本製品を
お買い求めのお客様へ

添付のマニュアルをお読みになる前に、必ずこの冊子をご覧ください

本冊子では、お客様にご購入いただいた製品の仕様や注意事項について説明しています。本冊子以外のマニュアルには、ご購入いただいた製品以外の情報も記載されていますので、あらかじめ本冊子でご確認ください。

※巻頭に本製品のご使用に関しての注意事項が記載されていますので、必ずご確認ください。

VALUESTAR

811064058A

このパソコンについて

ここでは、添付のマニュアルに記載された内容と、このパソコンの違いについて説明します。

■型名・型番について

本製品はVN770/CSをベースに企画されたモデルです。
本製品に添付のマニュアル等では型名・型番を下記のとおり読み替えてご覧ください。

	マニュアル等での表記	本製品
型名	VN770/CS6W	VN770/CS1BW
	VN770/CS6B	VN770/CS1BB
	VN770/CS6R	VN770/CS1BR
型番	PC-VN770CS6W	PC-VN770CS1BW
	PC-VN770CS6B	PC-VN770CS1BB
	PC-VN770CS6R	PC-VN770CS1BR

■モデル構成表について

このパソコンのモデル構成表は次のとおりです。

シリーズ名	型名(型番)	表記の区分				
		BD/DVD/CDドライブ※1	TV機能	ワイヤレスLAN	OS	添付ソフト
VALUESTAR N	VN770/CS1B□(PC-VN770CS1B□)※2	ブルーレイディスクドライブモデル	デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/110度CS)モデル	高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	Windows 7 Home Premium モデル	Office Home & Business 2010モデル

※1:BDとはブルーレイディスクのことです。
※2:本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。

シリーズ名	カラー	型名(型番)
VALUESTAR N	ファインホワイト	VN770/CS1BW(PC-VN770CS1BW)
	ファインブラック	VN770/CS1BB(PC-VN770CS1BB)
	クランベリーレッド	VN770/CS1BR(PC-VN770CS1BR)

■添付のマニュアルについて

本冊子では、本文中でほかの添付マニュアルを参照しています。
参照先のマニュアルは、添付の「マニュアル CD-ROM」内に収録されているPDFファイルでご覧ください。
DVD/CDドライブに「マニュアル CD-ROM」をセットし、CD-ROM内のPDFファイルをダブルクリックすると、マニュアルをご覧になれます。

PDFファイル名	マニュアル名	内容
Junbi.pdf	『準備と基本』	パソコンを使い始める際に必要な設定、主な機能の紹介、機能の拡張、特有の機能について説明しています。
Trouble.pdf	『トラブルの予防と解決』	パソコンを使用する際におきるトラブルを予防する対策と、その解決法について説明しています。
TV.pdf	『テレビを楽しむ本』	このパソコンでテレビを視聴/録画する方法について説明しています。

■電源プランについて

本製品は、ご購入時の電源プランの設定が添付のマニュアルに記載されている設定と異なります。
添付のマニュアル等をご覧になる際は、下記のとおり読み替えてご覧ください。

	マニュアル等での表記	本製品
ご購入時の電源プラン	VALUESTAR	ECOワイド
次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る	なし	10分
次の時間が経過後スリープする	25分	15分
次の時間が経過後ディスプレイを暗くする	5分	2分
次の時間が経過後ディスプレイの電源を切る	10分	5分

本製品はご購入時の状態で電源プランが「ECOワイド」に設定されています。
また、本製品の「ECOワイド」は、CPU性能の上限をおさえることによって消費電力を下げる設定となっています。
そのため、「ECOワイド」で利用中はパソコンの処理性能が低くなり、ソフトウェアの処理が遅くなったり、映像再生時にコマ落ちが発生したりする場合があります。その場合は、ECOボタンを押して「ECOワイド」を解除するか、電源プランの設定を変更してご利用ください。

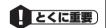
このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

⚠注意　人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。

注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。

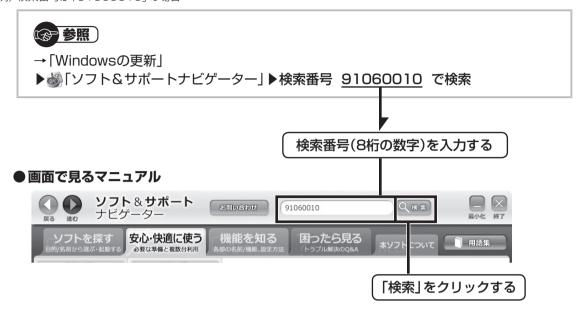
関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーおよびリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチドライブ機能付き）を指します。
「ソフト＆サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト＆サポートナビゲーター」は、タスクバーの（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例)検索番号が「91060010」の場合

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

2ページの表をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	IEEE802.11b/g(2.4GHz)およびIEEE802.11n(2.4GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Home & Business 2010モデル	Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/110度CS)モデル	地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。

◆本文中の記載について

- 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆周辺機器について

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Outlook、Outlook 2010	Microsoft® Office Outlook® 2010
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
Windows Media Center	Windows® Media Center
タスクバー	Windows® タスクバー
Windows Update	Windows® Update
Windows 転送ツール	Windows® 転送ツール
Corel WinDVD	Corel® WinDVD®
Corel WinDVD AVC	Corel® WinDVD® AVC
Corel WinDVD BD	Corel® WinDVD® BD

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外NECでは、本製品の保守･修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

商標について

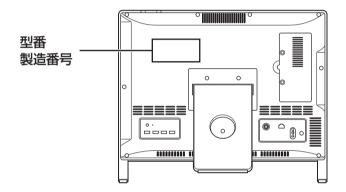
Microsoft、Windows、Internet Explorer、Excel、Office ロゴ、OneNote、Outlook、PowerPointは、米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
インテル、Intel、Intel Core、Celeronはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
“Blu-ray Disc”は、商標です。
TRENDMICRO及びウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
Corel、Corel のロゴ、WinDVDはCorel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。
SDおよびminiSDロゴ、およびSDXCロゴは商標です。
miniSD™およびmicroSD™はSDアソシエーションの商標です。
“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）および“Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK、、、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE 、OpenMGはソニー株式会社の商標です。
SmartVision、FontAvenueは、日本電気株式会社の登録商標です。
BIGLOBEはＮＥＣビッグローブ株式会社の登録商標です。
「Yahoo!」は、Yahoo!Inc.の登録商標です。
ヤフー株式会社は、これに関する権利を有しています。
DigiOn、DiXiMは株式会社デジオンの登録商標です。
MaxxBass、MaxxTreble、MaxxStereo、MaxxVolume、MaxxAudio、WAVES MAXX AUDIO はアメリカ合衆国およびその他の国々における Waves Audio ltd.の登録商標です。
ファイナルパソコン引越しはAOSテクノロジーズ株式会社の日本における商標です。
PCMoverは、米国における米国 Laplink Software 社の登録商標です。
SmartPhotoは、NECパーソナルプロダクツ株式会社の商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

製品を確認する

保証書と本体のラベルの記載内容が一致していることを確認してください。

●保証書

●パソコン背面

重要

- ラベルに記載された番号が保証書と異なっている場合、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.11）にお問い合わせください。
- 保証書は、所定事項（販売店名、お買い上げ日など）が記入されていることを確認し、保管してください。
- 保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容に基づいて修理いたします。保証期間終了後の修理についてはNECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

■持ち運び時の注意

⚠注意

●本体を設置したり移動したりするときは、必ず両手で本体を持ち上げてください。
片手でスタンドなどの本体ではない部分をつかんで持ち上げてしまうと破損の原因になります。

●本体使用中および使用直後は、排熱孔部分が高温となっていることがありますので触れないでください。
やけどの原因になることがあります。電源を切った後、しばらくたってから持ち運びをしてください。

添付品を確認する

次のチェックリストを見ながら、添付品がそろっているかを確認してください。

●全モデル共通

□ パソコン本体

□ キーボード

□ マウス

□キーボード、マウス用乾電池(単3形×4本)

□ 電源コード

□ ACアダプタ

□ リモコン

□ リモコン用乾電池(単3形×2本)

□ B-CASカード

※ 台紙に貼り付けられています。

●マニュアルなど

□ ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い)／ソフトウェア使用条件適用一覧
※ 1枚になっています。
箱の中身を確認後必ずお読みください。

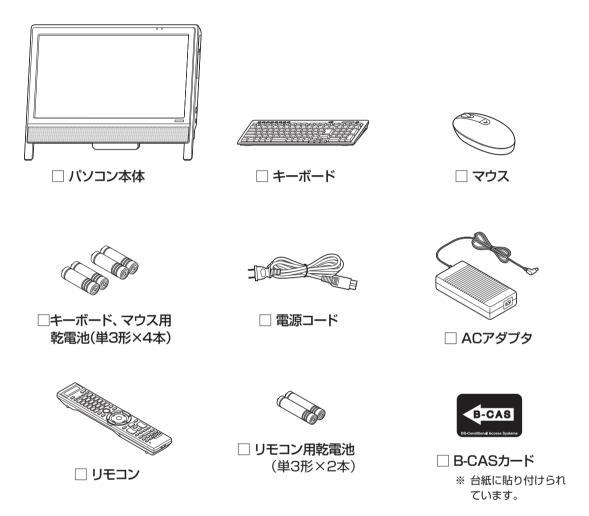
□ 安全にお使いいただくために
※ 箱の中身を確認後必ずお読みください。

□ BS･110度CSデジタル放送パンフレット／加入契約申込書

□ デジタル放送録画番組配信機能をお使いのお客様へ

□ PC修理チェックシート

□ 本製品をお買い求めのお客様へ(このマニュアル)

□ マニュアル CD-ROM

●「Microsoft® Office Home and Business 2010」の添付品

□「Microsoft® Office Home and Business 2010」のパッケージ

■添付品が足りないときは

万一、足りないものがあったり、添付品の一部が破損していたときは、すぐに下記までお問い合わせください。

●NECサポート窓口（121（ワントゥワン）コンタクトセンター）

フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、上記電話番号をご利用いただけないお客様は次の電話番号へおかけください。
　03-6670-6000（通話料お客様負担）

NECサポート窓口（121コンタクトセンター）の詳しい情報は、『トラブルの予防と解決』第５章の「NECのサポート窓口に電話する」をご覧ください。

■「電子マニュアルビューア」について

このパソコンのマニュアルは、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「電子マニュアルビューア」でご覧いただくこともできます。また、「電子マニュアルビューア」では、ご購入時以降のさまざまな情報に対応した、最新のマニュアルをご覧いただける場合もあります。

「電子マニュアルビューア」はインターネットに接続後、次のURLからご利用いただけます。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

パソコンの置き場所を決める

ここでは、パソコンを設置する場所について説明します。

■パソコンを設置する場所

パソコンは次のような場所に置いてください。

●屋内

●しっかりした台の上
パソコンの重さを支えられる机やテーブルの上に設置してください。

●温度は10 ～ 35℃、湿度は20 ～ 80%

●ほこりの少ない場所

●コンセントや電話回線の近く
本体や周辺機器に接続した電源コード、LANケーブルなどが届く範囲に設置してください。

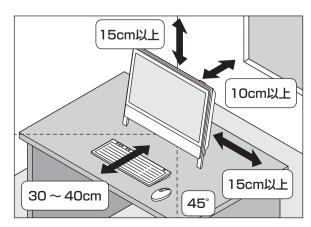
パソコンの周囲のスペースについて

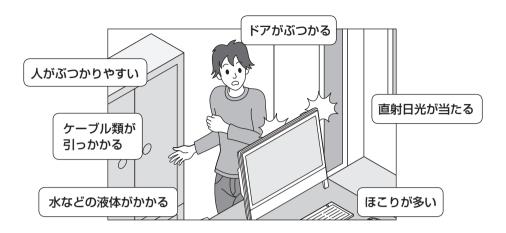
快適に操作するため、また、機器の故障を防ぐため、パソコンの周囲にはスペースを確保してください。

●本体前に30 ～ 40cm
キーボードを置いて、マウスを操作できるスペースが必要です。キーボードとマウスは、パソコン本体から45度の範囲で使用することをおすすめします。

●本体後ろ側に10cm以上
排熱孔や通風孔の放熱を妨げないように壁などから10cm以上離して設置してください。ケーブルの接続、本体の角度調節などの作業をしやすくするためには、50cm程度のスペースを確保することをおすすめします。

●本体上面および側面に15cm以上
DVD/CDドライブを使用するため、また排熱孔や通風孔の放熱を妨げないように15cm以上の空間を確保してください。

●排熱孔および通風孔について
パソコン本体の排熱孔および通風孔を紙などでふさがないようにしてください。ふさいだまま使用すると、内部の温度が上昇して故障などの原因になります。

■パソコンを設置してはいけない場所

故障などの原因になるため、次のような場所には置かないでください。

パソコンの近くに置いてはいけないものについて

次のものはパソコンの近くに置かないでください。

●磁気や電波を発生するもの

パソコンの近くに磁気や電波を発生するもの(テレビ、ラジオ、スピーカ、コードレス電話、携帯電話など)を置くと、パソコンのディスプレイの映像が乱れたり、スピーカから雑音が出ることがあります。また、これらの機器とパソコンは相互に影響を与えるため、逆にテレビの映像が乱れたり、ラジオやコードレス電話から雑音が出ることもあります。
扇風機や温風式こたつなども磁気を発生するため、パソコンの近くには置かないでください。

●熱を発生するもの

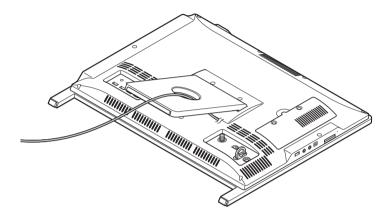
パソコンの近くに暖房機などを置くと、熱によってパソコンが変形したり異常な動作をすることがあります。

■その他、設置に関するご注意

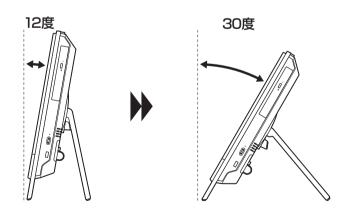
●コンセントについて

・テレビやラジオのコンセントとは、別のコンセントに接続してください。同じコンセントに接続するとテレビやラジオから雑音が出ることがあります。
・電源コードはできるだけ直接コンセントに接続してください。コンセントが足りず、パソコン用のテーブルタップを使うときは、テーブルタップの許容電力を守ってください。

●ケーブルについて

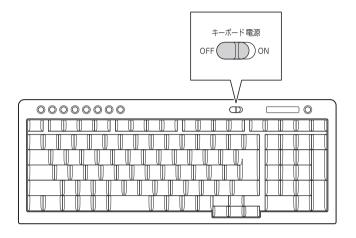
・アンテナケーブルや電源コードを、本体背面のスタンドに通すことができます。
ケーブルをスタンドに通すと、キーボードを本体の下に収納しやすくなります。

・ケーブルを引っかけて機器を落とさないようにしてください。小さなお子様がいるご家庭では特にご注意ください。

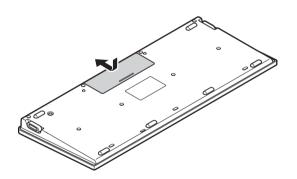
■パソコン本体の角度調節

このパソコンのディスプレイ部分は、次の図の範囲内で角度調節が可能です。

・本体が落下しないように、十分なスペースを確保してから調節してください。
・スタンドの付け根に取り付けられている部品は取り外さないでください。

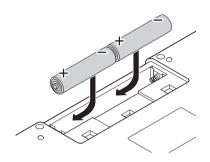
キーボードを使う準備をする

1 キーボード右上のキーボード電源スイッチを「OFF」にする

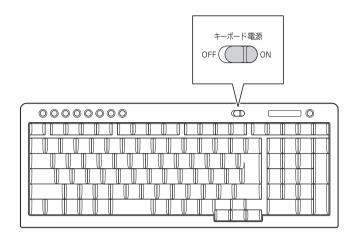
キーボード電源スイッチを左にスライドし、「OFF」になっているか確認してください。

2 キーボード裏面のカバーを外す

矢印の方向にカバーをスライドさせてください。

3 乾電池を入れる

単3形アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電池を2本入れます。入れたら電池カバーをもとどおりにはめてください。

重要

- 乾電池の＋(プラス)と−(マイナス)の向きを、電池ボックス内の表示どおりに入れてください。
- ご使用の環境や方法にもよりますが、キーボードの電池寿命は、アルカリ乾電池で連続使用した場合、最大約1000時間です。
- マンガン乾電池、オキシライド乾電池は使用できません。

4 キーボード右上のキーボード電源スイッチを「ON」にする

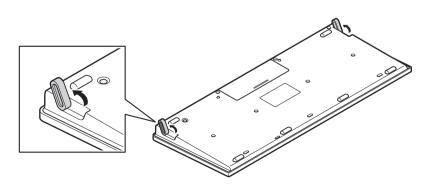
キーボード電源スイッチを右にスライドし、「ON」にしてください。

重要

キーボードを長時間使わないときは、キーボード右上のキーボード電源スイッチを「OFF」にしておくと、乾電池が長持ちします。

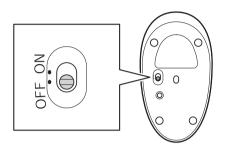
参考

キーボードがうまく動作しないときは、「キーボードやマウスを登録しなおす」(p.96)をご覧ください。

■キーボードの足を立てる

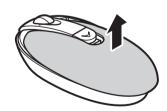
お好みでキーボードの足を立てて使うこともできます。

マウスを使う準備をする

1　マウス底面のON/OFFスイッチを「OFF」にする

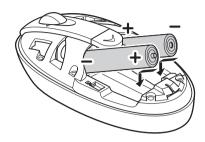
マウス底面のON/OFFスイッチを下にスライドし、「OFF」になっているか確認してください。

2　マウス上面のボタンを押す

カバーのロックが外れます。

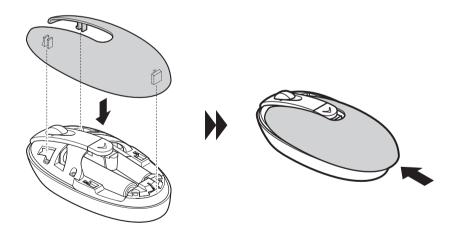
3　カバーを外す

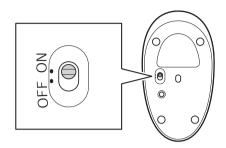
カバーを上に持ち上げて外します。

4 乾電池を入れる

図のように、単3形アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電池をマウスの前方に向けて押し込んでから、後方を端子に合わせて入れてください。

重要

・乾電池の＋（プラス）と－（マイナス）の向きを、電池ボックス内の表示どおりに入れてください。
・マウスの後方の端子が変形しないように乾電池を入れてください。
・マンガン乾電池、オキシライド乾電池は使用できません。

5 カバーをもとどおりはめる

カバーのツメが穴に入るようにはめこみ、マウスの前方に向かってカチッと音がするまでスライドさせてください。

6 マウス底面のON/OFFスイッチを「ON」にする

マウス底面のON/OFFスイッチを上にスライドし、「ON」にしてください。

重要

- レーザーが出ている穴の部分を見つめると、視力に障害が起こる可能性があるので見つめないように注意してください。
- マウスの電池寿命は、ご使用の環境や方法にもよりますが、連続して操作した場合、最大約150時間です。
- マウスを長時間使わないときは、マウス底面のON/OFFスイッチを「OFF」にしておくと、乾電池が長持ちします。

参考

マウスがうまく動作しないときは、「キーボードやマウスを登録しなおす」(p.96)をご覧ください。

テレビを見るための準備

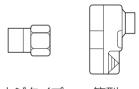
ここでは、テレビのアンテナに接続するためのケーブルや機器類、テレビを受信するための環境、および、ご自宅の受信環境に合わせたアンテナへの接続方法など、テレビを見る前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
ここでの説明をお読みいただいてから、「アンテナケーブルを接続する」(p.28)に進んでください。

■テレビを見るために用意していただくもの

次のものは本機に添付されておりません。必要に応じて市販のものを用意してください。

●必ず用意していただくもの

・F型コネクタ付きアンテナケーブル

F型コネクタには、ネジタイプのものと箱型のものがあります。パソコンのアンテナ端子にはネジタイプのプラグを取り付けてください。

ネジタイプ　　箱型

・プラスドライバー
本体背面のカバーを取り外すときに使います。ドライバーの代わりに10円硬貨などのコインを使うこともできます。

●必要に応じて用意していただくもの

ここでは代表的なものについてご紹介します。受信環境によって使用するものが異なります。たとえば、BS･110度CSデジタル放送を視聴する場合、BS･110度CSデジタル放送用アンテナに電源を供給する必要があります。その際、電流通過型の機器が必要になることがあります。ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

・分配器

1つの受信電波を複数のテレビ(またはテレビを搭載したパソコンなど)に分配する機器です。

・混合器

複数の放送電波を1本のアンテナ線に混合してまとめる機器です。地上デジタル放送とBS･110度CSデジタル放送の信号が2つの端子に分かれて供給されている場合に必要です。

・ブースター

受信した電波が弱いとき、増幅する機器です。

・アッテネーター

受信した電波が強すぎるとき、減衰する機器です。

■テレビを受信するためには

地上デジタル放送を受信するためには

地上デジタル放送はUHFで放送されています。視聴するためには次のことを確認してください。

TVをケーブルTVで見ていますか？

見ている → ▶「ケーブルテレビをご利用の場合」(p.27)

見ていない ↓

すでにTVなどで地上デジタル放送を見ていますか？

見ている → 地上デジタル放送を視聴できます。
アンテナケーブルの接続状態によっては電波を強めたりすることが必要になります。

見ていない ↓

お住まいは集合住宅ですか？戸建て住宅ですか？

集合住宅 → ▶「集合住宅にお住まいの場合」(p.27)

戸建て住宅 ↓

お住まいにUHFアンテナは立っていますか？

立っていない → 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置する必要があります。

立っている ↓

地上デジタル放送を視聴できます。必要に応じて、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置したり、すでに立っているUHFアンテナの方向を調節してください。

アンテナの設置や状態など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

BS･110度CSデジタル放送を受信するためには

●BS･110度CSデジタル放送に対応したアンテナが正しく設置されていること

BS･110度CSデジタル放送に対応した衛星アンテナが必要です。
また、アンテナが衛星に向けて設置されている必要があります。

※ 従来のBS･110度CSアナログ放送用のアンテナでは、受信できないことがあります。

●BS･110度CSデジタル放送に対応したアンテナに電源が供給されていること

BS･110度CSデジタル放送(衛星デジタル放送)のアンテナは、電波を受信するために電源の供給を必要とします。このパソコンにはアンテナへの電源供給機能がないため、アンテナへの電源供給は、ほかの機器からおこなう必要があります。

・ アンテナを、アンテナ電源の供給が常時可能なほかのデジタル機器(テレビ、レコーダー、電源供給機能付きのブースターなど)と共有している場合
→ほかのデジタル機器からアンテナに電源を供給します。各機器のマニュアルなどを確認し、アンテナへの電源供給を有効にする設定にしておくことが必要です。

・ アンテナを、このパソコンのみに接続する場合、または、アンテナ電源の供給機能が無いデジタル機器や、供給が中断することがあるデジタル機器と共有している場合
→別途、市販の電源供給器や電源供給機能付きのブースターなどが必要です。

デジタル機器の電源供給機能の有無や設定方法については、各機器のマニュアルなどをご確認ください。
アンテナへの電源供給については、(http://121ware.com/catalog/dtv/)をご覧ください。

●有料放送については申し込みが済んでいること

有料放送は、視聴するための申し込みが必要です。

・ 衛星デジタル放送の信号をこのパソコンと他テレビなどに分配する分配器には、電流通過型をご使用ください。
・ アンテナの状態など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

視聴できない放送について

地上アナログ放送を視聴することはできません。
ケーブルテレビでは、BS･110度CSデジタル放送を視聴することはできません。

■アンテナケーブルの接続前に確認すること

地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の信号の供給方法によって、アンテナの接続方法は異なります。
接続する前に、ご自宅のアンテナの接続状態を確認してください。

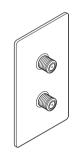
重要

- ここでは一般的な接続例について説明しています。テレビのご利用環境によって、ご用意いただくもの(ケーブル、分波器、分配器など)が異なります。
- 集合住宅にお住まいのかたやケーブルテレビをご利用のかたは必要に応じて、「その他のご注意」(p.27)もあわせてご覧ください。
- 使用するケーブルなど、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

■ご家庭のアンテナ端子について

一般的なご家庭では、屋外のアンテナからの信号線やケーブルテレビの信号線が、屋内の壁に取り付けられたアンテナ端子に接続されています。
信号線の接続方法によって、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が、個別のアンテナ端子に供給されている場合と、ひとつのアンテナ端子にまとめて供給されている場合があります。

壁側のアンテナ端子が2つの場合

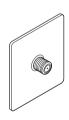
BS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子
および地上デジタル放送のアンテナ端子

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル

混合器

※建物によってはこれ以外の形のアンテナ端子が設置されていることもあります。

壁側のアンテナ端子が1つの場合

BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル
放送が混合されたアンテナ端子

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル

- アンテナ端子の状況など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。
- アンテナ端子が1つの場合、地上デジタル放送の信号だけ供給されていたり、BS・110度CSデジタル放送の信号だけ供給されている場合があります。ご家庭のアンテナ端子がどの放送波に対応しているかをご確認の上、接続をおこなってください。

壁側のアンテナ端子を確認したら、「アンテナケーブルを接続する」(p.28)に進んでください。

■その他のご注意

集合住宅にお住まいの場合

マンションなどの集合住宅にお住まいの場合は、次の点にご注意ください。

- 地上デジタル放送を受信できるかどうか、管理組合や管理会社にご確認ください。
- BS・110度CSデジタル放送を受信できるかどうか、管理組合や管理会社にご確認ください。
- 共聴受信の場合は、「ご家庭のアンテナ端子について」(p.26)の「壁側のアンテナ端子が1つの場合」の説明にしたがって接続してください。なお、お住まいの集合住宅の受信形態によってはテレビが受信できない場合があります。詳しくは、集合住宅の管理者かお近くの電器店にご相談ください。

ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビをご利用の場合は、次の点にご注意ください。

- ケーブルテレビ事業者が次のいずれかで地上デジタル放送を再配信しているときは、地上デジタル放送を視聴することができます。
  - 同一周波数パススルー方式
  - 周波数変換パススルー方式

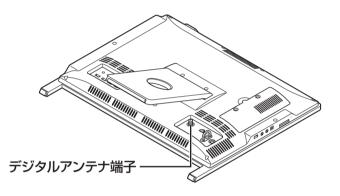
  これら以外の方式の場合は、地上デジタル放送が視聴できません。お近くの電器店などにご相談ください。
- ケーブルテレビ事業者により、視聴制限(スクランブル)を設定されたチャンネルは受信できません。
- ケーブルテレビで受信可能な放送については、ケーブルテレビ局にお問い合わせください。
- ケーブルテレビ用端末機器(セットトップボックスやホームターミナルなど)をお持ちの場合は、端末機器の端子※とこのパソコンの地上デジタルアンテナ端子を接続してください。

  ※端末機器によって、「分配出力」、「CATV(下り)」、「UHF出力」などの名称になっています。端末機器に添付されているマニュアルをご覧ください。
- アンテナ線や受信環境について詳しくは、ケーブルテレビ局、またはお近くの電器店にご相談ください。

アンテナケーブルを接続する

ここでは、アンテナケーブルを接続する手順について説明します。
あらかじめ、「テレビを見るための準備」(p.21)をお読みいただき、接続に使用するケーブルや機器類、テレビを受信するための環境、および、ご自宅の受信環境に合わせたアンテナの接続方法を確認してください。

■アンテナケーブルを接続するときのご注意

・アンテナケーブルを取り付ける際には、ディスプレイ側を下にして本体を伏せてください。本体を伏せるときはディスプレイを傷つけないよう、厚手の紙や布などを下に敷いてください。

・プラグのネジは、まわらなくなるまでしっかりしめてください。
・アンテナケーブルを接続するときや取り外すときは、パソコンの電源が入っていないことを確認してから作業をおこなってください。

衛星デジタル放送を視聴する場合、電源供給器が必要な場合があります。詳しくは「BS・110度CSデジタル放送を受信するためには」(p.24)をご覧ください。

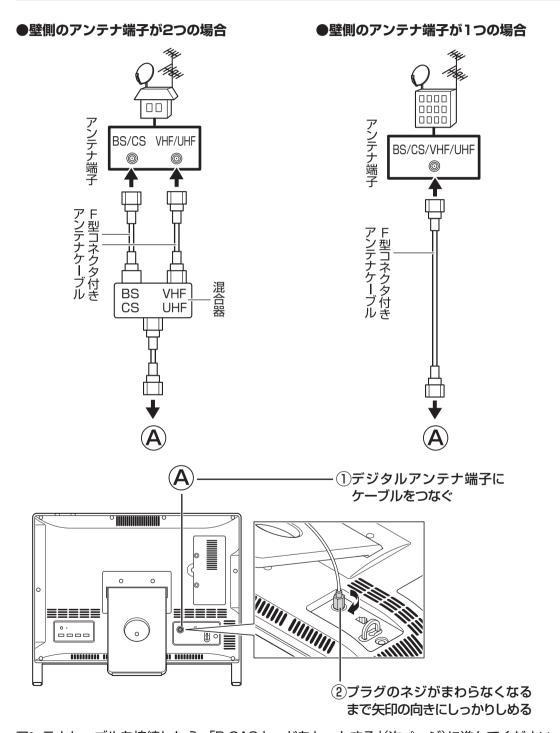
●壁側のアンテナ端子が2つの場合

アンテナ端子
BS/CS　VHF/UHF
F型コネクタ付きアンテナケーブル
BS　VHF
CS　UHF
混合器
Ⓐ

●壁側のアンテナ端子が1つの場合

アンテナ端子
BS/CS/VHF/UHF
F型コネクタ付きアンテナケーブル
Ⓐ

Ⓐ ①デジタルアンテナ端子にケーブルをつなぐ

②プラグのネジがまわらなくなるまで矢印の向きにしっかりしめる

アンテナケーブルを接続したら、「B-CASカードをセットする」(次ページ)に進んでください。

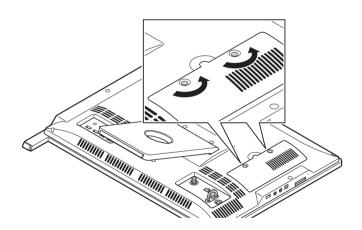
B-CASカードをセットする

ここでは、B-CASカードをセットする手順について説明します。

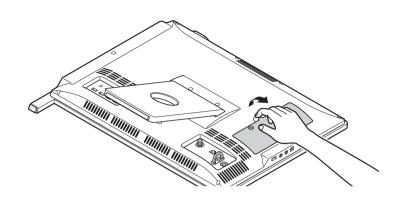
B-CASカードをセットするときや取り外すときは、パソコンの電源が入っていないことを確認してから作業をおこなってください。

1　本体を、ディスプレイ側を下にして伏せる

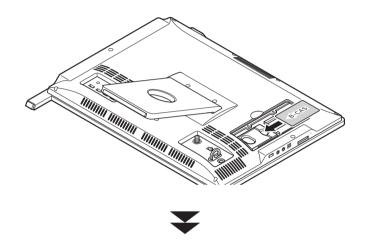
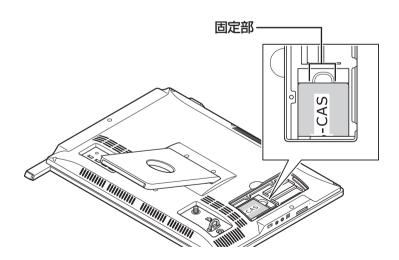
本体を伏せるときは、ディスプレイを傷つけないよう、厚手の紙や布などを下に敷いてください。

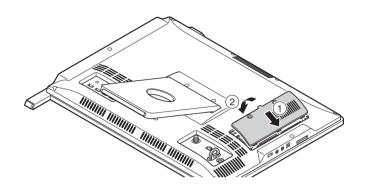
2　B-CASカードカバーのネジをゆるめて取り外す

重要

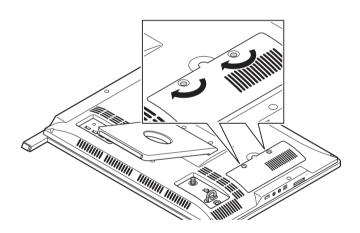
取り外したネジは、なくさないようご注意ください。

3 B-CASカードカバーのミゾに指をかけ、手前に引き上げて取り外す

4 B-CASカードをセットする

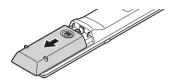
B-CASカードの向きに注意してセットしてください。B-CASカードスロットには、B-CASカードの向きを示す刻印が付いています。

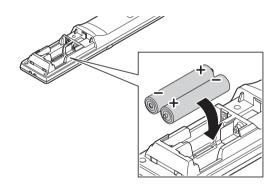
「B-CAS」の印刷面を手前にして、B-CASカードをセットしてください。

B-CASカードを固定部に収まるように奥まで押し込み、固定します。

5 B-CASカードカバーをもとに戻す

B-CASカードカバーを図の手順で取り付けます。

6 B-CASカードカバーを固定する

取り外したネジを取り付けます。

リモコンをセットする

■リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン背面の電池カバーをスライドして取り外す

2 添付の単3形の乾電池を入れる

電池の向きに注意して入れてください。

3 電池カバーをもとのように取り付ける

■リモコンの使用範囲について

リモコンを使うときは、本体から約3mの範囲で操作してください。

■リモコンが使えるソフトについて

リモコンは、次のソフトで使うことができます。これ以外のソフトでリモコンを使用した場合には、ボタンが正しく動作しない可能性があります。

・「SmartVision」
・「WinDVD」※
・「Windows Media Center」
・「ぱっと観スライドショー」
・「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」

※ 「Corel WinDVD」、「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」

SmartVisionの操作について詳しくは『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

ここでは、パソコンの電源が入っているときに、リモコンで使えるソフトのボタンと動作について説明しています。

リモコン対応ソフトの操作可能なボタンと動作(1)

ボタン	Windows Media Center	WinDVD※1
【DVD】※12	WinDVD※1の起動(全画面)	WinDVD※1の起動(全画面)
【音楽/CD】	Windows Media Center (音楽メニュー)の起動	ー
【アプリ終了】	ソフトの終了	ソフトの終了
【彩り】	※2	※2
【1】から【12】、【＊】、【0】	数字や文字の入力※3	チャプター選択※3
【#】	文字入力時:入力モードの切換	ー
【クリア】	選択したファイルの削除※4	全画面表示/ウインドウ表示の切り替え
【確定】	決定	メニュー再生時:選択 タイトル再生時:再生/一時停止
【Media Center】( )	Windows Media Centerのトップ画面を表示	Windows Media Centerを起動
【録画番組】	録画一覧を表示	ー
【番組表】	Windows Media Centerを起動(Windows Media Centerが起動している場合はメッセージを表示)	ー
【矢印】(▲ ▼ ◀ ▶)	項目の移動	項目の移動 映像再生時 【▶】:早送り/【◀】:巻き戻し
【決定】	決定	メニュー再生時:選択 タイトル再生時:再生/一時停止
【《】	メニュー表示時:メニューの先頭項目へ移動	ー
【》】	メニュー表示時:メニューの最後の項目へ移動	停止
【戻る】	ひとつ前の画面に戻る	ー
【サブメニュー】	サブメニューを表示※3	右クリックメニューを表示
【音声切換】	ー	音声モードの切換※11 (コンテンツが対応している場合のみ)
【字幕】	ー	字幕のあるディスクで字幕を表示(字幕が2つ以上ある場合は順番に切換)
【音量】	音量を変更	音量を変更※5
【消音】	消音	消音
【チャンネル】	一覧が表示されている場合: 項目の移動※3	ー
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	ー	※6
【巻戻し】	巻戻し(押すごとに2倍速→3倍速→4倍速と変化)	巻き戻し※7
【再生】	再生	再生
【早送り】	早送り(押すごとに2倍速→3倍速→4倍速と変化)	早送り※7
【前】、【次】	前後のチャプターに移動	前後のチャプターに移動
【一時停止】	一時停止	一時停止/再生
【停止】	停止	停止
DVD 【メニュー】	ー(DVD再生はWinDVDでおこなう)	・DVD再生時 DVDのメニューを表示 ・ブルーレイディスク再生時 トップメニューを表示※8
DVD 【トップメニュー】	ー	・DVD再生時 DVDのトップメニューを表示※9 ・ブルーレイディスク再生時 ポップアップメニューを表示※10

リモコン対応ソフトの操作可能なボタンと動作(2)

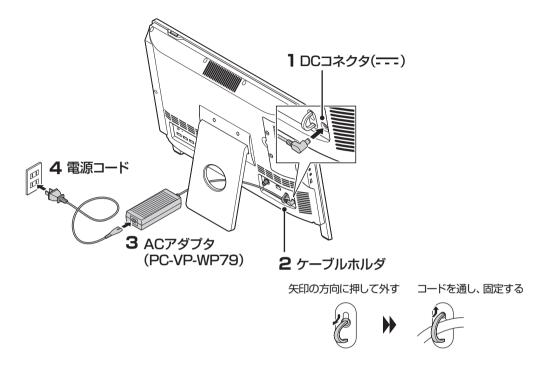
ボタン	ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM
【DVD】※12	−
【音楽/CD】	−
【アプリ終了】	ソフトの終了
【彩り】	※2
【1】から【12】、【＊】、【0】	ソフト上のキーボードで数字を入力※3
【#】	ソフト上のキーボードで#を入力
【クリア】	ソフト上のキーボードで1文字削除(前の文字)
【確定】	決定
【Media Center】( )	Windows Media Centerを起動
【番組情報】	番組情報を表示(デジタル放送の番組、ビデオ、画像、音楽)
【矢印】(▲▼◀▶)	項目の移動
【決定】	決定 再生中は動作しない
【《】	ソフト上のキーボードで、入力位置の移動
【》】	ソフト上のキーボードで、入力位置の移動
【戻る】	一覧画面に戻る ユーザーマーク設定画面および再生リスト画面:一つ前の画面に戻る
【サブメニュー】	サブメニューを表示(フォーカス位置で異なる)
【音声切換】	音声モードの切換(コンテンツが対応している場合のみ)
【音量】	音量を変更
【消音】	消音
【青】	一覧画面:絞込み設定の全解除 ソフト上のキーボード画面:文字入力領域への移動
【赤】	一覧画面:表示モード切換 ソフト上のキーボード画面:文字入力切換などの領域への移動
【緑】	一覧画面:前のソートインデックスへ移動 ソフト上のキーボード画面:予測変換領域への移動
【黄】	一覧画面:次のソートインデックスへ移動 ソフト上のキーボード画面:文字変換領域への移動
【巻戻し】	ビデオの場合:巻戻し(押すごとに3倍速→15倍速→60倍速→240倍速と変化) 音楽の場合:− 写真の場合:−
【再生】	再生
【早送り】	ビデオの場合:早送り(押すごとに3倍速→15倍速→60倍速→240倍速と変化) 音楽の場合:早送り(押すごとに2倍速→4倍速→8倍速と変化) 写真の場合:−
【前】、【次】	・前のコンテンツへ移動、または最初に戻る(【前】) ビデオの場合、30秒前にスキップ(【前】) ・次のコンテンツへ移動(【次】) ビデオの場合、30秒後にスキップ(【次】)
【一時停止】	一時停止
【停止】	停止

リモコン対応ソフトの操作可能なボタンと動作(3)

ボタン	ぱっと観スライドショー
【DVD】※12	−
【音楽/CD】	−
【アプリ終了】	ソフトの終了
【確定】	【決定】と同じ動作
【決定】	フォトムービー･フォトブック画面(サブメニュー表示時):フォーカス中の項目を実行 フォトムービー･フォトブック画面(一時停止、サブメニュー非表示時):表示モード(通常サイズ(1倍)/全画面表示/拡大表示/ピクセル等倍/2枚表示)の切換 一覧画面:フォーカスのある写真を先頭にしてフォトムービー開始 選んで取り込む画面:フォーカス中の項目を実行 写真の選択･選択解除
【Media Center】()	Windows Media Centerを起動
【矢印】(▲ ▼ ◀ ▶)	フォトムービー画面:左右:写真戻し/送り フォトブック画面:左右:ページもどり/めくり 一覧画面:サムネイルのフォーカスを上下左右に移動
【決定】	フォトムービー･フォトブック画面(サブメニュー表示時):フォーカス中の項目を実行 フォトムービー･フォトブック画面(一時停止、サブメニュー非表示時):表示モード(通常サイズ(1倍)/全画面表示/拡大表示/ピクセル等倍/2枚表示)の切換 一覧画面:フォーカスのある写真を先頭にしてフォトムービー開始 アップロード写真選択画面:フォーカス中の項目を実行 写真の選択･選択解除
【《】	フォトムービー画面:先頭の写真へ フォトブック画面:先頭のページへ 一覧画面:先頭の写真へフォーカスが移動
【》】	フォトムービー画面:最後の写真へ フォトブック画面:最後のページへ 一覧画面:最後の写真へフォーカスが移動
【戻る】	ひとつ前の画面に戻る
【サブメニュー】	サブメニュー(画面右側のメニュー)表示/非表示
【音量】	音量を変更
【消音】	消音
【前】	フォトムービー画面:写真戻し フォトブック画面:ページ戻し 一覧表示画面:前の写真へフォーカスが移動
【再生】	再生
【次】	フォトムービー画面:写真送り フォトブック画面:ページめくり 一覧画面:次の写真へフォーカスが移動
【一時停止】	一時停止
【停止】	停止

※ 1: 「Corel WinDVD」、「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」を指します(ご購入のモデルによって添付されるソフトは異なります)。
※ 2: 「彩りの設定」が動作します。詳しくは、『準備と基本』の「第6章 おすすめ機能」の「彩りの設定」をご覧ください。
※ 3: 操作するソフトやメニューによって、使用できるボタンは異なります。
※ 4: メニューによっては、動作しない場合があります。
※ 5: Windowsの音量が変化します。WinDVDの音量は変化しません。
※ 6: ブルーレイディスクによって、使用する場合があります。詳しくはディスクに添付されているマニュアルをご覧ください。
※ 7: 押すたびに速度が変化します(速度はディスクによって異なります)。
※ 8: タイトルによってはディスクに収められたプログラム(BD-J)の動作にしたがうために、メニューが表示されないことがあります。
※ 9: トップメニューがあるタイトルのみ。
※10: ポップアップメニューがあるタイトルのみ。
※11: 一部のディスクタイトルやテレビ放送から作成したディスクでは、[サブメニュー]-[音声切換]-[ステレオ/主音声/副音声] で切換可能。
※12: SmartVision起動中は動作しません。

ACアダプタを接続する

接続は次の図を見ながら、順番を守っておこなってください。

続けてWindowsのセットアップに進んでください。

重要

電源コードなどが人の通る場所にないことを確認してください。ケーブルを足に引っかけたりするとパソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

参考

・ACアダプタを接続するときに、ケーブルを本体背面のスタンドに通すことができます。ケーブルをスタンドに通すと、本体の下にキーボードを収納しやすくなります。
・インターネットへの接続や周辺機器などの接続は、セットアップ作業が終わった後におこなってください。

セットアップ前の確認

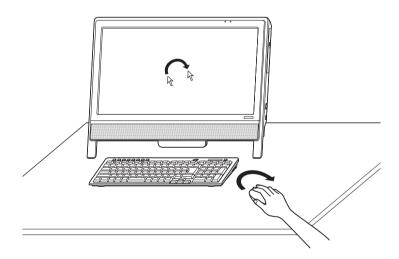
重要

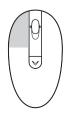
- **セットアップ中に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしない**
  故障の原因になります。p.48の画面が表示されるまでは、電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。
- **セットアップに関係のないボタン類を操作しない**
  セットアップで使用しないボタン類を操作しないでください。

■セットアップの基本操作

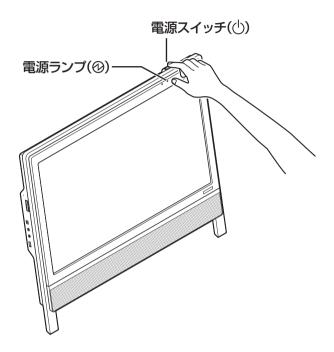
はじめてパソコンを操作するかたはご覧ください。

●画面の矢印 を動かす

マウスをつかんで机の上ですべらせると、その動きに合わせてマウスポインタを動かすことができます。

●クリック

マウスポインタを目的の位置に合わせてマウスの左ボタンを1回押す動作をクリックといいます。

Windowsをセットアップする

1　電源スイッチを押す

電源が入ると、電源ランプが点灯します。

重要

・電源スイッチを押してから、手順2の画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、NECのロゴ(社名のマーク)が表示されたり画面が真っ暗になったりしますが、故障ではありません。手順2の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。
・手順2の画面が表示されずに、「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示されたときは「セットアップの画面が表示されないときは」(p.48)をご覧ください。

液晶ディスプレイのドット抜けについて

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインにしたがい、ドット抜けの割合を「仕様一覧」に記載しています。
ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
・「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

2 半角英数字(a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)で任意のユーザー名を入力し、「次へ」をクリックする

重要

- 入力したユーザー名を次の欄に控えておいてください。
  ユーザー名：

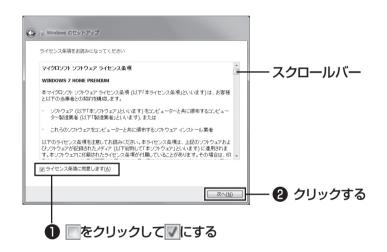
  セットアップ作業をやりなおす(再セットアップする)など、パソコンのトラブルを解決する際に必要になる場合があります。
- コンピュータ名が同じパソコン同士はネットワークで接続できません。コンピュータ名が同じパソコンがあるときは、別のコンピュータ名を入力してください。
- 次の文字列は、パソコンのシステムで使われているため、入力しないでください。
  CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9

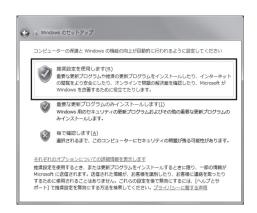
参考

セットアップが終わってからユーザー名を追加、変更することもできます。

3 「次へ」をクリックする

パスワードは、ここでは入力しないでください。

4 画面の内容を確認し、「ライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にし、「次へ」をクリックする

画面右のスクロールバーを上下に動かすことで、表示されていない文章を読むことができます。

5 「推奨設定を使用します」をクリックする

これでWindowsのセットアップは完了です。
続けてパソコンの設定をおこないます。次ページの画面が表示されるまでそのままお待ちください。

NEC独自の設定をおこなう

1 「NECのパソコン設定のご案内」が表示されたら ➡ をクリックする

2 BIGLOBE ホームページまたはYahoo! JAPANホームページのいずれかを選んで ◉ にし、➡ をクリックする

3 注意文を読んで ➡ をクリックする

4 ［→］をクリックする

参考

- はじめてパソコンを使われるかたのために、パソコンを活用するためのソフトをインストールすることもできます。画面の説明を読んで、必要に応じて「まとめてインストールする」や「ソフトウェアを選択してインストールする」の○をクリックして◉にしてから、［→］をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。パソコンを活用するためのソフトは、セットアップが終わってからインストールすることもできます。
- このマニュアルより詳しい説明が「ソフト＆サポートナビゲーター」にある場合には、参照ページを記載しています。その際にはセットアップ作業終了後、「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動してご活用ください。

しばらくするとパソコンが再起動し、手順5の画面が表示されます。

5 「いいえ」をクリックする

・文字サイズを拡大する設定をおこなう場合は、「はい」をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。
・「パソらく設定」で設定を変更すると、ソフトにより正しく表示されないことがあります。その場合は、『準備と基本』第4章の「文字やアイコンサイズの変更」をご覧になり、設定を変更してください。

これでセットアップは完了です。次回からは、電源スイッチを押すと、デスクトップ画面が表示されるようになります。

■セットアップの画面が表示されないときは

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示された場合は、次の手順にしたがってください。

❶ **【F2】を押す**
BIOS(バイオス)セットアップユーティリティが表示されます。

❷ **【+】、【−】で時間(24時間形式)を設定し【Enter】を押す**
時刻の値は数字キーでも入力できます。

❸ **【Tab】や【↓】【↑】で項目を移動し、同様に分、秒、月、日、年(西暦)を設定する**

❹ **【F9】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❺ **「Yes」を選択し、【Enter】を押す**
BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

❻ **【F10】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❼ **「Yes」を選択し、【Enter】を押す**
BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、「Windowsをセットアップする」の手順2(p.42)をご覧になり、作業を続けてください。

Windowsのパスワードを設定する

パソコン内の情報保護のため、パスワードを設定しておくことをおすすめします。
設定すると、電源を入れたときにパスワードの入力が必要になります。正しいパスワードが入力されないとパソコンを使うことができないため、第三者がパソコンを起動して情報を見ることを防ぐことができます。

■Windowsのパスワードを設定する

1 「 (スタート)」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックする

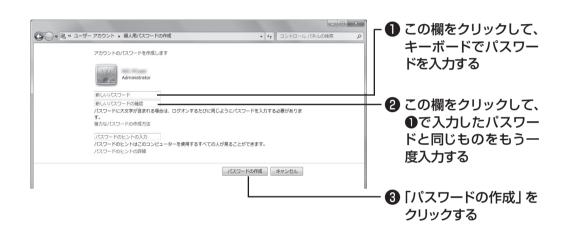
3 「Windowsパスワードの変更」をクリックする

4 「アカウントのパスワードの作成」をクリックする

5 パスワードを入力する

パスワードは次のように設定してください。大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。

参考

- 入力したパスワードは「●●●」のように表示されます。これは、他人に見られてもわからないようにするためです。
- 「パスワードのヒントの入力」欄に、パスワードを思い出すためのヒントを入力しておくことができます。パスワードを正しく入力できない場合にヒントを表示することができます。

これでWindowsのパスワードの設定は完了です。[x] をクリックして画面を閉じてください。

パスワードを忘れたときのために

パスワードを忘れてしまうと、パソコンを使うために再セットアップが必要になります。万一に備えて「パスワード リセット ディスク」を作成しておきましょう。「パスワード リセット ディスク」を使うと新しいパスワードを作成することができます。「パスワード リセット ディスク」について詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

この後の操作について

続いて次の作業についての説明をご覧になり、設定をしてください。
ここでいったんパソコンを終了したいかたは、「パソコンを終了する」(次ページ)をご覧ください。

参照

・インターネットの設定をおこなう
▶『準備と基本』の「第3章 インターネットを始める」

・テレビの設定をおこなう
▶「テレビの初期設定」(p.55)または『テレビを楽しむ本』

またパソコンをさらに安心・快適に使うためのいろいろな設定や作業について説明しています。ぜひご覧ください。

ソフトの探し方について知る

▶『準備と基本』第2章の「ソフトを探す」

トラブルのための対策をとる

▶『準備と基本』第2章の「トラブル対策をする」
または
▶『トラブルの予防と解決』の「第1章 トラブルの予防」

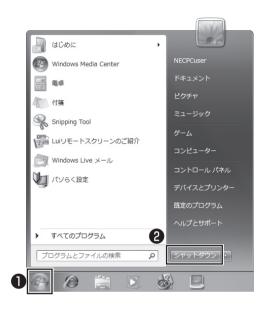
古いパソコンからデータや周辺機器を移行する

▶『準備と基本』第2章の「パソコンを買い替えたかたへ」

パソコンを終了する

画面の操作で電源が切れないときなど緊急の場合を除き、通常はマウスを使ってパソコンを終了してください。電源スイッチで終了しないでください。

■パソコンの電源を切る

1 「スタート」-「シャットダウン」をクリックする

画面が暗くなり、電源ランプが消灯します。これでパソコンを終了することができました。

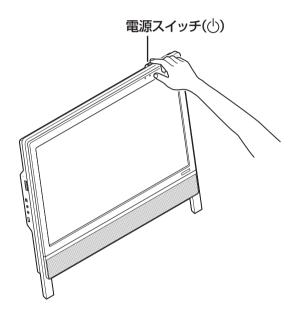
再びパソコンを使い始める場合

▶「パソコンを使い始める」(次ページ)

パソコンを使い始める

いったん電源を切ってから電源を入れなおすときは、電源が切れてから5秒以上待って電源スイッチを押してください。

■パソコンの電源を入れる

1　電源スイッチを押す

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力するための画面が表示されます。
パスワードを入力し、➔ をクリックしてください。
しばらくするとデスクトップ画面が表示され、パソコンを使い始めることができます。

テレビの初期設定

■接続と設定は済んでいますか？

テレビを見るには、まずパソコンを使う準備(ケーブル類の接続、セットアップ作業)をする必要があります。まだ終わっていないかたは、準備をしてください(p.12 ～ p.51)。
パソコンを使う準備ができたら、次にテレビを見るための準備をおこないます。

重要

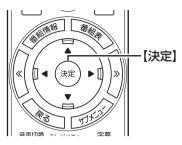
- CATV(ケーブルテレビ)から地上デジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。
- CATV会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーションなど)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のCATV会社にご確認ください。
- CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表などをご覧ください。

■Windows Media Centerをセットアップする

このパソコンでテレビを見るには「SmartVision(スマートビジョン)」というソフトを使います。
SmartVisionは「Windows Media Center」というソフトから起動します。Windows Media Centerをはじめて使うときは、セットアップが必要です。

1 リモコンの【Media Center】を押す

セットアップの画面が表示されます。

2 「Windows Media Centerへようこそ」と表示されていることを確認し、【決定】を押す

3 「推奨設定」が表示されていることを確認して、【決定】を押す

次の画面（Windows Media Centerのメインメニュー）が表示されたら、セットアップは完了です。続けて、テレビの初期設定をします。

■テレビ初期設定をする

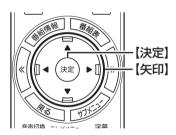
テレビ初期設定の操作は、マウスとキーボードを使っておこないます。

重要

- 操作画面上に「？」が表示されているときは、「？」をクリックすると、その項目についての簡単な説明が表示されます。
- 「Media Centerテレビ」-「テレビの初期設定」は実行しないでください。
- テレビ初期設定を中止するときは、「キャンセル」をクリックしてください。なお、中止したときは、それまでに設定した内容は保存されません。
- ハードディスクのアクセスランプが点滅しているときは、パソコンの設定中です。次の画面が表示されるまで何も操作せずに待ってください。

ハードディスクのアクセスランプについて→『準備と基本』の「各部の名称」

参考

テレビ初期設定の操作はリモコンの【矢印】と【決定】を押しておこなうこともできます。

チャンネルの設定などをおこなう

1 Windows Media Centerの「テレビ（SmartVision）」-「テレビ視聴」をクリックする

「テレビ初期設定」が表示されます。

2 「次へ」をクリックする

3 画面の内容を確認して、「次へ」をクリックする

アンテナケーブルの接続について→「アンテナケーブルを接続する」（p.28）

4 B-CASカードの状態を確認する

「正常」と表示されたときは

「次へ」をクリックして手順5に進んでください。

「問題あり」と表示されたときは

B-CASカードに問題があります。「B-CASカードをセットする」(p.30)をご覧になり、B-CASカードをセットしなおしてください。

①B-CASカードをセットしなおしたら、「B-CASカードのテスト」をクリックしてください。

②「B-CASカードは正常です」と表示されたら、「次へ」をクリックして手順5に進んでください。

「B-CASカードの情報を読み取れません。」と表示されたときは、B-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。「B-CASカードをセットする」(p.30)をご覧になり、B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

5 チャンネル設定をする

①クリックし、お住まいの都道府県をクリックする
②クリックし、キーボードで数字を入力し、【Enter】を押す
③都道府県と郵便番号が正しいことを確認したら、「次へ」をクリックする

自動的に、地上デジタル放送のチャンネルの検索が始まります。チャンネルを探し終わると、レポート画面が表示されます。

参考

「チャンネルが見つかりませんでした」と表示された場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.66)をご覧ください。

6 チャンネル設定を確認し、「次へ」をクリックする

Windowsのログオンパスワードを設定しているときは、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。設定していないときは、「設定ができたか確認する」(p.61)に進んで、設定結果について確認してください。

参考

受信できていないチャンネルがあった場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.66)をご覧ください。

7 パスワードを入力する（設定している場合）

①ログオンしているユーザー名が表示されていることを確認する
　（ユーザー名は一例です）
②クリックし、キーボードでパスワードを入力し、【Enter】を押す
③「次へ」をクリックする

続けて、設定結果について確認してください。

・この画面は、Windowsのログオンパスワードを設定していない場合は表示されません。
・この画面の設定をおこなうと、Windowsが省電力状態（スリープ、休止状態）から復帰するときにパスワードを入力しない設定になります。
・新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更した場合は、自動ログオンの設定をおこなう必要があります。設定について詳しくは、『テレビを楽しむ本』付録の「自動ログオンの設定をする」をご覧ください。

設定ができたか確認する

続けて、設定ができたか確認します。

1 BSデジタル放送の受信状態を確認する

BSデジタル放送の受信状態が表示されます。
①「次へ」をクリックする

●受信レベルで「問題あり」と表示された場合、テレビ初期設定が終わってから、「テレビ初期設定で困ったら」(p.66)をご覧ください。
●「受信レベルの確認」をクリックすると、受信レベルの確認の画面が表示されます。

2 番組表と自動ログオンの設定を確認する

番組表の受信についてと自動ログオンするユーザー名が表示されます。
① 自動ログオンのユーザー名を確認して「次へ」をクリックする

テレビ番組を録画するときや番組表を受信するときに、ここで表示したユーザー名で自動ログオンします。
自動ログオンのユーザー名の変更手順は『テレビを楽しむ本』付録の「自動ログオンの設定をする」をご覧ください。

初期設定が完了すると、番組表の受信のためにパソコンが毎日自動的に起動するようになります。詳しくは、「パソコンの自動起動について」(p.63)をご覧ください。

3 「閉じる」をクリックする

テレビ画面が表示されます。
これで、テレビの初期設定は完了です。
設定がうまくいかなかったときや、設定は終わったが見られない放送があるときは、「テレビ初期設定で困ったら」(p.66)をご覧ください。

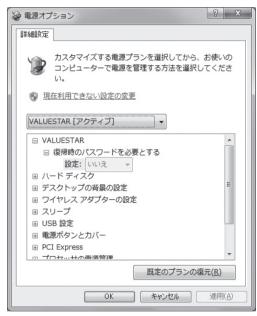
パソコンの自動起動について

SmartVisionの初期設定が終了すると、1日に1回、朝10時に番組表を受信するためにパソコンが自動的に起動します。また、番組表の受信が完了した後は、ご購入時の設定ではスリープ状態になります。
番組表の受信が完了すると、その日はそれ以降の番組表の自動受信はおこなわれません。受信に失敗した場合は、次の時刻に再度自動起動して番組表を受信します。

10・12・14・16時

なお、これらの設定は、初期設定後にいつでも変更することができます。
番組表の受信時刻を変更する場合は、『テレビを楽しむ本』PART2の「番組表の受信時刻を変更する」を、番組表の受信後の動作を変更する場合は、『テレビを楽しむ本』付録の「予約実行前後の動作を設定する」をご覧ください。

Windows復帰時のパスワード入力画面について

ご購入時には、パソコンが省電力状態などから復帰するとき、ログオン画面(復帰時のパスワードを入力する画面)が表示される設定になっていますが、テレビ初期設定をすると、この画面が表示されないよう設定が変更されます。
テレビの予約視聴や予約録画をおこなうために、省電力状態などからパソコンを自動復帰させる際、この画面でWindowsの動作が停止(パスワードの入力待ち状態)してしまうことを防ぐためです。
この設定は、「コントロールパネル」の「システムとセキュリティ」-「電源オプション」で電源プランを選んで変更できますが、ログオン画面が表示される設定(「復帰時のパスワードを必要とする」を「はい」に設定)にすると、省電力状態などからの録画予約ができなくなります。ご注意ください。

※: モデルによって、一部画面が異なる場合があります。

電源プランについて
→「省電力機能の設定を変更する」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160030 で検索

テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示させる

テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示されるよう設定をしておくと、テレビを視聴していないときでも、録画や光ディスク書き込みの状態などがわかります。

1 画面右下の▲をクリックする

2 「カスタマイズ」をクリックする

「タスクバーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示されます。

3 SmartVision Schedulerの右の▼をクリックして、表示されたメニューから「アイコンと通知を表示」を選んでクリックする

4 「OK」をクリックする

これで、テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示されるようになりました。

■テレビ初期設定で困ったら

テレビ初期設定で、設定がうまくいかないときや、設定をしても見られない放送があるときは、テレビ初期設定を完了した後に次の説明をご覧ください。

問題点を確認する

次の手順で、設定の問題点を確認してください。

1　リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2　「情報」-「まとめて確認」を選んで【決定】を押す

現在の状態の確認結果が表示されます。

この画面で、問題点を確認します。

地上デジタル放送の受信レベルに問題があったときは

1 「受信レベル」の「地上デジタル」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0、またはチャンネルスキャンをおこなっても受信可能チャンネルが表示されない場合
お近くの電器店などに、次の点を確認してください。
・パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

参考

受信レベルは、「テレビメニュー」の「情報」-「受信レベルの確認」でも確認できます。

重要

・チャンネルスキャンの結果、受信可能チャンネルが表示されても、受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調節してください。
・地上デジタル放送を正常に視聴できない場合は、『テレビを楽しむ本』PART8の「テレビが映らない」および「テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる」をご覧ください。

BSデジタル放送の受信レベルに問題があったときは

1 「受信レベル」の「BS」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0の場合
アンテナを設置した事業者などに、アンテナに給電が必要かどうかを確認してください。パソコンからはアンテナに給電することができません。別の機器から給電していただく必要があります。詳しくは「テレビを見るための準備」(p.21)をご覧ください。

・受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。
・受信レベルが0でなくても、BSデジタル放送の視聴に問題が出る場合があります。『テレビを楽しむ本』PART8の「テレビが映らない」をご覧ください。

次の作業をおこなってみてください

今までの手順で問題が解決しなかったときは、次の操作をおこなってみてください。機能が回復する場合があります。

● 「テレビ初期設定」でチャンネルが見つからなかったとき
ここまでの作業が終わったら、テレビ初期設定をやりなおします。
リモコンの【テレビメニュー】を押して、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで、テレビ初期設定をやりなおしてください。

● 設定は終わったが、見られない放送があったとき
ここまでの作業が終わったら、『テレビを楽しむ本』PART2の「テレビをつける」の方法で放送が見られるかどうか確認してください。
見られない場合、お客様の環境では受信できない放送である可能性があります。詳しくはお近くの電器店にご相談ください。

パソコン起動時のトラブルのとき

ここではパソコンを起動するときに起こるトラブルについて説明します。

■電源を入れてもディスプレイ(画面)に何も表示されない

電源を入れてもNECのロゴが表示されないとき、NECのロゴが表示された後に画面が真っ暗になりしばらく待っても反応がないとき

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。
なお、画面が真っ暗ではなくブルーになったときは、「ブルーの画面が表示された」(p.79)をご覧ください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 電源の状態を確認する

「電源スイッチを押しても電源が入らない」(p.86)、「電源スイッチを押して電源ランプが点灯したのに、画面に何も表示されない」(p.86)をご覧になり、電源の接続とディスプレイの状態を確認してください。

2 パソコンに取り付けられている周辺機器を取り外す

パソコンの電源を切って周辺機器を取り外し、電源を入れなおしてください。

3 CD-ROMなどのディスクを取り出す

CD-ROMなどのディスクを取り出し、パソコンの電源を入れなおしてください。

4 パソコンを放電する(p.86)

5 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

6 再セットアップする

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.106)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.119)を試してください。

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■Windowsのロゴが表示された後に画面にメッセージが表示された

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 パソコンを放電する(p.86)

2 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

3 「前回正常起動時の構成」で再起動する(『トラブルの予防と解決』のp.105)

再起動した後、自動的に「詳細 ブートオプション」が表示されたときは、続けて手順4の操作をおこなってください。

4 「スタートアップ修復」をおこなう(『トラブルの予防と解決』のp.105)

5 Roxio BackOnTrack(インスタントリストア)でバックアップを復元する(『トラブルの予防と解決』のp.105)

Roxio BackOnTrack(インスタントリストア)であらかじめシステムのバックアップを取っておいた場合は、システムを復元することができます。

6 再セットアップする

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.106)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.119)を試してください。

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■修復や再セットアップを促すメッセージが表示された

パソコンの修復を促すメッセージが表示されたときは

メッセージの内容を確認して対応してください。
メッセージの内容にしたがって操作しても問題が解決しないときは、下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。
「Windows 7再セットアップ」の画面が表示された場合は、「終了」をクリックするとWindowsが起動します。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

2 「システムの復元」をおこなう(『トラブルの予防と解決』のp.104)

3 パソコンを放電する(p.86)

4 「前回正常起動時の構成」で再起動する(『トラブルの予防と解決』のp.105)

5 再セットアップする

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.106)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.119)を試してください。

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

再セットアップを促すメッセージが表示されたときは

再セットアップしてください。(『トラブルの予防と解決』のp.106)

■「A disk read error…」と表示された

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 CD-ROMなどのディスクを取り出す

CD-ROMなどのディスクを取り出し、パソコンの電源を入れなおしてください。

2 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■「Phoenix award BIOS…」と表示された

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 ほかに表示されているメッセージがないか確認する

ほかのメッセージが表示されているときは、メッセージの内容を確認して対応してください。
問題が起こったときに表示されるメッセージについては、「パソコン起動時のトラブルのとき」(p.69 ～ p.83)の各項目をご覧ください。

2 パソコンに取り付けられている周辺機器を取り外す

パソコンの電源を切って周辺機器を取り外し、パソコンの電源を入れなおしてください。

3 CD-ROMなどのディスクを取り出す

CD-ROMなどのディスクを取り出し、パソコンの電源を入れなおしてください。

4 パソコンを放電する(p.86)

5 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

6 再セットアップする

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.106)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.119)を試してください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■「Verifying DMI pool Data…」と表示された

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 パソコンを放電する(p.86)

2 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■「Operating System not Found…」と表示された

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 CD-ROMなどのディスクを取り出す

CD-ROMなどのディスクを取り出し、パソコンの電源を入れなおしてください。

2 パソコンを放電する(p.86)

3 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

4 「再セットアップディスク」を使って再セットアップする(『トラブルの予防と解決』のp.119)

上記のメッセージが表示されたときは、ハードディスクの再セットアップ用データを使って再セットアップすることができません。「再セットアップディスク」を使って再セットアップしてください。

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■「BOOTMGR is missing/ Press Ctrl+Alt+Del to restart」と表示された

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1. **キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押してパソコンを再起動する**
2. **パソコンを放電する(p.86)**
3. **BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)**
4. **「再セットアップディスク」を使って再セットアップする(『トラブルの予防と解決』のp.119)**

   上記のメッセージが表示されたときは、ハードディスクの再セットアップ用データを使って再セットアップすることができません。「再セットアップディスク」を使って再セットアップしてください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■「A problem has been detected and windows has been shut to prevent…」と表示された

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 パソコンを放電する(p.86)

2 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

3 問題が起こる前にインストールしたソフトがあれば、アンインストールする

4 「システムの復元」をおこなう(『トラブルの予防と解決』のp.104)

5 再セットアップする

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.106)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.119)を試してください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■「Windowsを開始できませんでした。最近のハードウェアまたはソフトウェアの変更が原因の可能性があります。」と表示された

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 **「スタートアップ修復」をおこなう(『トラブルの予防と解決』のp.105)**

2 **パソコンを放電する(p.86)**

3 **BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)**

4 **「前回正常起動時の構成」で再起動する(『トラブルの予防と解決』のp.105)**

再起動した後、自動的に「詳細 ブートオプション」が表示されたときは、続けて手順5の操作をおこなってください。

5 **「スタートアップ修復」をおこなう(『トラブルの予防と解決』のp.105)**

6 **再セットアップする**

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.106)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.119)を試してください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■「詳細 ブートオプション」が表示された。または、何も表示されないままパソコンが再起動した

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 「スタートアップ修復」をおこなう(『トラブルの予防と解決』のp.105)

2 パソコンを放電する(p.86)

3 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

4 「前回正常起動時の構成」で再起動する(『トラブルの予防と解決』のp.105)

再起動した後、自動的に「詳細 ブートオプション」が表示されたときは、続けて手順5の操作をおこなってください。

5 「スタートアップ修復」をおこなう(『トラブルの予防と解決』のp.105)

6 再セットアップする

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.106)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.119)を試してください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■ブルーの画面が表示された

下に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 パソコンに取り付けられている周辺機器を取り外す

パソコンの電源を切って周辺機器を取り外し、電源を入れなおしてください。

2 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.80)

3 「前回正常起動時の構成」で再起動する(『トラブルの予防と解決』のp.105)

4 問題が起こる前にインストールしたソフトがあれば、アンインストールする

5 「システムの復元」をおこなう(『トラブルの予防と解決』のp.104)

6 再セットアップする

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.106)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(『トラブルの予防と解決』のp.119)を試してください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
URL:http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.11)

■BIOSの設定を変更したら、Windowsが起動しない

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで、BIOSの設定を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。
次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。
なお、BIOSセットアップユーティリティで設定したパスワードは、次の手順をおこなっても初期値には戻りません。

重要

BIOSセットアップユーティリティで設定をおこなっている間は、パソコンの電源スイッチで電源を切らないでください。電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切る操作をおこなってください。

1 市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す

2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。
表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、「NEC」ロゴ表示中に【F2】を繰り返し押してください。
「NEC」のロゴ画面が表示されない場合は、本体の電源を入れた直後、キーボードまたはディスプレイのランプが点灯したら、BIOSセットアップユーティリティが起動するまで、【F2】を繰り返し押してください。

3 【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

4 「Yes」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が初期値に戻ります。

5 【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 「Yes」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

■省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

参照

「ディスプレイの省電力機能が設定できない」など、省電力機能に関するトラブル
→「電源と起動」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92030010 で検索

ソフトや周辺機器は省電力機能(スリープ状態／休止状態)に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記録)した内容が消えてしまう場合があります。

CD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

CD-ROMなどのディスクがセットされている状態で省電力状態から復帰すると、正しく復帰できずにCD-ROMから起動してしまうことがあります。
省電力状態にする場合には、CD-ROMを取り出してから省電力状態にするようにしてください。

Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっていませんか？

Cドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。ハイブリッドスリープがオフになっていると、電源コードが抜けたとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。
コントロールパネルの電源オプションの設定で、ハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。

ハイブリッドスリープの設定について
→「省電力機能を使う」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160020 で検索

スリープ状態への移行中に停電したり、電源コードが抜けたりしませんでしたか?

スリープ状態への移行中に停電したり、電源コードやACアダプタが抜けると、保持(記録)された内容が消えてしまう場合があります。

電源コードは正しく接続されていますか?(スリープ状態のとき)

電源コードを正しくコンセントに接続します。ACアダプタが添付されているモデルでは、ACアダプタの接続も確認してください。

画面消灯ボタンを押してください

本体右側面の画面消灯ランプが点灯しているときは、本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押してください。
上記の操作で、ナイトモードのオン/オフが切り換わります。
ナイトモードとは、夜間に画面表示を消したままでテレビ録画をしたり、一時的に画面表示や音声を消したりするときに使う機能です。

重要

省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。
・ 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
・ 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・ 省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。
・ プリンタへ出力中のとき
・ サウンド機能により音声を再生しているとき
・ ハードディスクを読み書き中のとき
・ CD-ROMなどを読み取り中のとき
・ 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

参考

パソコンのトラブルには、基本ソフトであるWindows 7で発生した問題も含まれています。Windows 7の開発元であるマイクロソフト社が、それらの問題の解決策や修正プログラムを、同社のホームページで提供しています。

このマニュアルに記載されている対処方法を試してもトラブルが解決しないときは、次のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://support.microsoft.com/fixit

パソコンの様子がおかしいとき

■煙や異臭・異音がする

煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱いとき、パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じたとき

すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.11）にお問い合わせください。
電源が切れないときは、本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

■ピーッというエラー音がした

ハードディスクの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.11）へお問い合わせください。

■パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、何も作業をしていないのに、ハードディスクが自動的に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題ありません。
また、ハードディスクの空き容量が少ないときや、データの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、アクセス音が長く続くことがあります。このようなときはディスク デフラグやディスク クリーンアップを実行してください。
（データの断片化とは、ハードディスク上のデータの配置が不連続になり、空きスペースが細かく分かれてしまった状態をいいます）
ディスク デフラグ、ディスク クリーンアップについては、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.11）にお問い合わせください。

■ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン（換気装置）があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔（排熱孔）にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、ファンの音が大きくなることがあります。その場合は、「お手入れについて」（p.93）をご覧になり、通風孔（排熱孔）を清掃してください。
あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.11）へお問い合わせください。

■パソコンが熱をもっている

パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔(排熱孔)にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、内部温度が高くなることがあります。その場合は「お手入れについて」(p.93)をご覧になり、通風孔(排熱孔)を清掃してください。
あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.11)へお問い合わせください。

■急に動かなくなった、フリーズした

画面が突然真っ暗になった

「ディスプレイ(画面)に何も表示されない」(『トラブルの予防と解決』のp.85)をご覧ください。

画面は映っているが何も反応しない

動作が止まっているように見えても、実はパソコンの処理に時間がかかっているだけということがあります。画面の表示状態やアクセスランプが点灯していないかなどをよく確認しましょう。しばらく待っても状況が変わらないときは、ソフトの終了、パソコンの終了を試してください(『トラブルの予防と解決』のp.70)。
(フリーズとは、ソフトや周辺機器に異常が発生して、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることをいいます。「ハングアップした」ということもあります)

アクセスランプについて→『準備と基本』の「各部の名称」

参考

このほか、パソコンの様子がおかしいときは次の項目をご覧ください。
→「困ったときには」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92010010 で検索
→「音・画像・映像」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92070020 で検索

電源のトラブルがおきたとき

■電源スイッチを押しても電源が入らない

正しい操作方法で、電源を入れていますか？

参照

電源スイッチの操作方法→『準備と基本』第4章の「電源の入れ方/切り方」
電源ランプが点灯している場合→「電源を入れてもディスプレイ（画面）に何も表示されない」（p.69）

まれに、パソコン本体が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。
パソコンの電源が切れた状態で、電源コードをコンセントから抜きます。
パソコン本体の電源スイッチを2、3回押し、そのまま90秒以上放置してください（電源コードをコンセントから抜いた状態で電源スイッチを2、3回押すことで、本体に帯電した電荷が放電されます）。
その後、電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れなおしてください。

本体の電源コードは正しく接続されていますか？

「ACアダプタを接続する」（p.39）で、ACアダプタの接続状態も確認してください。

■電源スイッチを押して電源ランプが点灯したのに、画面に何も表示されない

ディスプレイは正しく設定されていますか？

『準備と基本』第4章の「画面の明るさの調節」をご覧になり、ナイトモードになっていないか確認してください。

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、「電源を入れてもディスプレイ（画面）に何も表示されない」（p.69）の対処方法2以降をおこなってください。

■電源コードをまちがって抜いた。停電で急に電源が切れた

落ち着いて電源コードを差し込んで、パソコンの電源を入れなおしてください。
普段どおりパソコンが起動して、Windowsの画面が表示されれば大丈夫です。
おかしな画面が表示されたときは、「パソコン起動時のトラブルのとき」(p.69)でその現象を探してください。

■電源が切れない。強制的に電源を切りたい

『トラブルの予防と解決』の「Windowsを強制的に終了する」(p.72)をご覧ください。

■パソコンの電源が勝手に入ってしまう

「バックアップ・ユーティリティ」で、自動バックアップの設定をしている場合、バックアップのためにパソコンが自動起動することがあります。
また、SmartVisionの設定によっては、予約の実行や番組表を自動取得する前にパソコンが自動的に起動して、予約や番組表取得に備えます。
ご購入時の状態では、番組表の受信のため、毎日午前10時にパソコンが自動的に起動します。起動タイミングについて詳しくは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。
そのほか、インターネットからWindowsのモジュール（ドライバやソフトなどの更新プログラム）をダウンロードしてアップデートする際など、設定によってはパソコンが自動的に再起動するため、勝手に電源が切れたり入ったりするように見えることもあります。

■パソコンの電源が勝手に切れる

このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態（スリープ状態）になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。省電力機能について詳しくは、『準備と基本』第4章の「省電力機能」をご覧ください。
また、SmartVisionはご購入時の状態では、予約実行後にスリープ状態になります。
いずれの場合も、電源が切れたわけではありません。

■電源スイッチを入れたら、いつもと違う画面が表示された

CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされていませんか？

CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。

参考

このほか、電源に関するトラブルが起きたときは、「電源と起動」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92030010 で検索）をご覧ください。

パスワードのトラブルがおきたとき

■パスワードを入力すると「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示される

(キャップスロック)や(ニューメリックロック)の状態を確認してください

パスワードは、大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。
また、ニューメリックロックがオンになっていると、テンキーから数字や記号が入力されます。必要に応じて状態を切り換えてください。

参照

キャップスロック、ニューメリックロックについて
→「キーの使い方」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93040030 で検索

■パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないでをクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。
どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワード リセット ディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。
または、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名が登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウント管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。
詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

重要

- ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイト、ネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- 「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、パスワードを設定しなおすことはできません。

これらの方法で解決できない場合は、パソコンの再セットアップが必要になります。

再セットアップについて→『トラブルの予防と解決』の「第4章 再セットアップする」

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.11)にご相談ください。

BIOSセットアップユーティリティについて
→「BIOS(バイオス)セットアップユーティリティについて」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93220010 で検索

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードを忘れないよう、十分注意してください。

参考

このほか、パスワードやセキュリティに関するトラブルが起きたときは、「セキュリティ」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92100010 で検索)をご覧ください。

再セットアップについて

パソコンの中をご購入時の状態に戻す再セットアップについて説明します。

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、気付かないうちにパソコンのシステムが壊れていたり、意識しないまま設定を変更してしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。このパソコンでは、ハードディスクに再セットアップをおこなうための領域があるため、手軽に再セットアップをおこなうことができます。

・ 再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。
・ 再セットアップ前に次の作業をおこなってください。問題が解決することがあります。
  - ウイルスチェック
  - セーフモード(トラブル修復用の起動状態)で起動する
  - システムの復元
・ ここに記載されている内容のほか、再セットアップや再セットアップ前の確認事項についての詳しい情報は、『トラブルの予防と解決』第4章をご覧ください。
・ 再セットアップをおこなうときは、外付けのハードディスクドライブ、SDメモリーカードやUSBメモリーなど市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、LANやワイヤレスLANなどの通信機能もあらかじめ無効にしておいてください。

■2種類の再セットアップ

このパソコンの再セットアップ領域を使用する再セットアップには、次の2種類があります。

Cドライブのみ再セットアップ

ご購入時の状態に戻します。

Cドライブの領域を変更して再セットアップ

Cドライブの領域を変更してDドライブを作成することができます。Cドライブの内容はご購入時の状態に戻ります。

このほかに、再セットアップディスクを作成して再セットアップをおこなう方法があります。

再セットアップの方法によっては、ユーザーデータが失われることがあります。

■再セットアップを始める

電源スイッチを押して電源を入れた後、「NEC」のロゴが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」と表示されるまで【F11】を何度か押すと、始めることができます。再セットアップは、画面の指示にしたがって作業を進めることができます。詳しい手順をご覧になりたい場合は、『トラブルの予防と解決』第4章をご覧ください。
再セットアップを始める前にデータのバックアップなど、事前処理をおこなう必要があります。

再セットアップ作業は、次の流れでおこないます。

再セットアップの流れ

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ
6. 市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す
7. システムを再セットアップする(約30分〜 1時間※)
   ※再セットアップ方法によっては1時間30分程度かかることがあります。
8. Windowsの設定をする(約30分〜 1時間)
9. Office Home & Business 2010を再セットアップする(約10 〜 20分)
10. 周辺機器を取り付ける
11. 市販のソフトをインストールしなおす
12. バックアップを取ったデータを復元する
13. インターネット接続の設定などをやりなおす
14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

お手入れについて

準備するもの

軽い汚れのとき

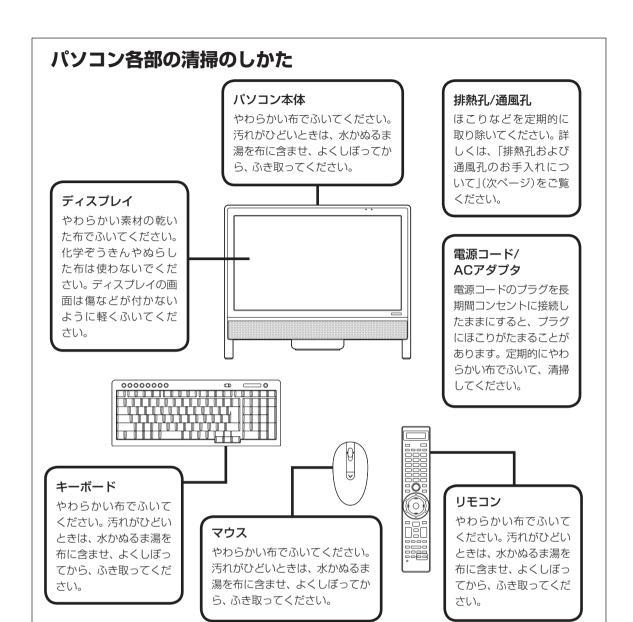
乾いたきれいな布

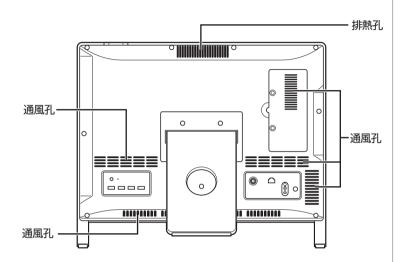
汚れがひどいとき

水かぬるま湯を含ませて、
よくしぼった布

お手入れをするときのご注意

・ シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
・ 水かぬるま湯を含ませた布は必ずよくしぼり、パソコン本体、キーボード、マウス、リモコンの汚れをふき取る際に水が入らないよう十分注意してください。
・ 水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
・ お手入れの前に「パソコンの電源を切る」(p.53)の手順で電源を切ってください。電源コードはコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

パソコン各部の清掃のしかた

排熱孔および通風孔のお手入れについて

排熱孔や通風孔は、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。

お手入れの際は、掃除機などを使って本体の外側からほこりを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

キーボードやマウスを登録しなおす

キーボードやマウスが正しく動作しないときは、何らかの原因でパソコン側の登録が解除されてしまったことが考えられます。
次の手順でキーボードとマウスを登録しなおしてください。

参考

・パソコンを修理・交換した場合も、登録しなおす必要があります。
・リモコンを再登録したいときは『準備と基本』第4章の「リモコン」をご覧ください。

重要

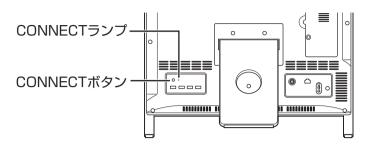
キーボードとマウスを連続して登録するときは、一方を登録した後、約30秒間隔をあけて次の登録をおこなってください。

1 パソコン本体の電源が入っていることを確認する

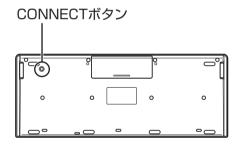
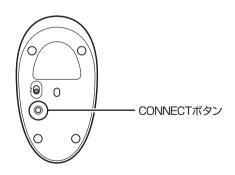
2 登録したい機器の電源スイッチを「ON」にする

●キーボードの場合

●マウスの場合

3 パソコン本体の背面にあるCONNECTボタンを約1秒間押す

CONNECTランプが点滅します。

4 CONNECTランプが点滅している間に、登録したい機器にあるCONNECTボタンを約1秒間押す

●キーボードの場合

●マウスの場合

重要

CONNECTボタンは、2回以上押さないでください。2回以上押すと、キーボードが動かなくなることがあります。CONNECTボタンを2回以上押してキーボードが動かなくなったときは、手順1からやりなおしてください。

参考

このパソコンを複数隣接して使用した場合など、ひとつのキーボード、マウスで2台反応したときは、パソコンを置く位置を変更するか、または、どちらか1台のパソコンの電源を切り、電源コードを抜いてから、もう1台のキーボードとマウスを登録しなおしてください。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

保守サービスに依頼するときのご注意

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)などにこのパソコンの修理を依頼する場合は、設定したパスワードを解除しておいてください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)について

▶『トラブルの予防と解決』第5章の「NECのサポート窓口に電話する」

消耗品と有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

種類	内容説明	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。本体の保証期間内であっても有償になります。	フロッピーディスク、CD-ROMディスク、DVD-ROMディスク、SDメモリーカード、メモリースティック、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代は有償になる場合があります。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、ハードディスクドライブ、DVD/CDドライブ、キーボード、マウス、ファン

※ 記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは、「仕様一覧」をご覧ください。

消耗品や有寿命部品に関するご注意

・ 有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
  また、長時間連続使用などのご使用状態や、温湿度条件などのご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。
・ 本製品の補修用性能部品の保有期間は、パソコン本体、オプション製品については製造打切後6年です。

24時間以上の連続使用について

・ 本製品は24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。
  24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。

パソコンの売却、処分、改造について

パソコンを他人に売却、処分するときの注意事項を説明します。また、パソコンの改造はおこなわないでください。

このパソコンを売却するには

ご使用済みパソコンの買い取りサービスをおこなっております。買い取り対象機種や上限価格は、随時変更されます。サービス内容の詳細や最新情報については、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/support/recyclesel/

パソコンを譲渡する際のご注意

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。

参照

このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法について

▶『トラブルの予防と解決』第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

このパソコンを譲渡するには

重要

第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ http://121ware.com/my/ の保有商品情報で削除してください。

譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/my/)にアクセスし、登録をお願いします。

参照

お客様登録の方法について

▶『トラブルの予防と解決』第5章の「お客様登録のお願い」

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の背面にある型番、製造番号が記載されたラベル)に表示されている、またはPCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は、弊社が責任を持って回収、再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する場合

弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力いただける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。詳細については次のサイトや窓口を確認してください。

廃棄時の詳細について

NECパーソナル商品総合情報サイト
「121ware.com」
http://121ware.com/support/recyclesel/

廃棄についてのお問い合わせ

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)
フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000(東京)(通話料金はお客様負担になります)

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は『トラブルの予防と解決』をご覧ください。
また、最新の情報については、(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

当該製品が事業者から排出される場合(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。

http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/

※ 本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において消去することが重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスクやメモリーカードを物理的に破壊して、読めないようにします。
なお、物理的に破壊する場合、専門技術が必要になります。また、お客様のけが防止のため、専門業者へ依頼することを推奨します。

このパソコンでは、再セットアップディスクを作成して、ハードディスクのデータ消去ができます。
「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化(フォーマット)」、「メモリーカードの初期化(フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

重要

本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のJEITA(社団法人電子情報技術産業協会)の文書をご参照ください。
(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_HDDdata100219F.pdf)

参照

再セットアップディスクによるハードディスクの消去について
▶『トラブルの予防と解決』第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

重要

ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

地上デジタル放送で使用する個人情報の消去に関するご注意

このパソコンでは、お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、地上デジタル放送のデータ放送で使用した個人情報を消去することが必要になります。個人情報の消去にはSmartVisionを使用します。

参照

SmartVisionで個人情報を消去する方法について
▶『テレビを楽しむ本』付録の「個人情報を消去する」

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外になることがあります。

仕様一覧

本体仕様一覧

型名			VN770/CS1BW VN770/CS1BB VN770/CS1BR
型番			PC-VN770CS1BW PC-VN770CS1BB PC-VN770CS1BR
インストールOS・サポートOS			Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版※1※2
CPU			インテル® Core™ i5-460M プロセッサー
	動作周波数		2.53GHz(インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応:最大2.80GHz)
	コア数/スレッド数		2コア/4スレッド(インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーに対応)
	キャッシュメモリ		3MB(3次キャッシュ)
バスクロック	システムバス		2.5GT/s DMI※3
	メモリバス		1066MHz
チップセット			モバイル インテル® HM55 Express チップセット
メインメモリ※4※5※7※8	標準容量/最大容量		4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応)/8GB※9※10
	スロット数		SO-DIMMスロット×2[空き:0]
表示機能	標準ディスプレイ[型番]		20型ワイド (スーパーシャインビュー LED液晶) [ディスプレイ本体一体型]
		表示寸法(アクティブ表示エリア)	442(W)×249(H)mm
		画素ピッチ	0.2768mm
		LCDドット抜けの割合※11	0.00012%以下
	表示色(解像度)	標準ディスプレイ	最大1677万色(1600×900ドット、1280×768ドット※12、1024×768ドット※12、800×600ドット※12)
	グラフィックアクセラレータ		インテル® HD グラフィックス(CPUに内蔵)
	グラフィックスメモリ※6※13		最大1696MB
ドライブ	ハードディスクドライブ※14		約1TB(Serial ATA、高速7200回転/分)
	BD/DVD/CDドライブ(詳細は別表(p.105)をご覧ください)		ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)※15
サウンド機能	スピーカ		内蔵ステレオスピーカ(3W+3W)
	音源/サラウンド機能		インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※17)、MaxxAudio®機能※16、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、ビームフォーミング)
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応
	ワイヤレスLAN		高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※18※19※20(IEEE802.11b/g/n準拠)
TV機能(詳細は別表(p.106)をご覧ください)			地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送対応※21※22
入力装置	キーボード		ワイヤレスキーボード※23※24※25(109キーレイアウト準拠、ワンタッチスタートボタン、マイ チョイスボタン、ECOボタン、ズームボタン付き)
	マウス		ワイヤレスレーザーマウス※23※25※26(横スクロール機能付き※27)
	リモコン		無線リモコン※25
	ボタン		明るさ調節つまみ/画面消灯ボタン
外部インターフェイス	USB		USB 2.0×6(パソコン本体左側面の端子にパワーオフUSB充電機能付き※28※29)
	IEEE1394		4ピン×1
	LAN		RJ45×1
	サウンド関連	マイク入力※30	ステレオミニジャック×1[マイク入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V]
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1[ヘッドフォン出力インピーダンス 16~100Ω(推奨32Ω)、出力電力 5mW/32Ω]
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)
	カードスロット	メモリーカード	デュアルメモリースロット×1※31[SDメモリーカード(SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード)※32※33、メモリースティック(メモリースティック PRO、メモリースティック PRO-HG デュオ)※34]
	TV		地上デジタル・BS・110度CSデジタル放送アンテナ入力端子×1、B-CASカードスロット×1
外形寸法	本体(突起部除く)		500(W)×182(D)×403(H)mm(ディスプレイ最小傾斜時) 500(W)×318(D)×365(H)mm(ディスプレイ最大傾斜時)
	キーボード		392(W)×153(D)×32(H)mm
	リモコン		50(W)×258(D)×27.5(H)mm
質量	本体		約8.9kg
	キーボード/マウス/リモコン		約715g※35/約72g※35/約140g※35
電源			AC100V±10%、50/60Hz
消費電力	標準/最大/スリープ状態時		約44W/約155W/約2W
電波障害対策			VCCI ClassB
温湿度条件			10~35℃、20~80%(ただし結露しないこと)

型名	VN770/CS1BW VN770/CS1BB VN770/CS1BR
本体色	・VN770/CS1BWの場合 ファインホワイト ・VN770/CS1BBの場合 ファインブラック ・VN770/CS1BRの場合 クランベリーレッド
主なソフトウェア	Microsoft® Office Home and Business 2010※36
主な添付品	マニュアル(冊子、CD-ROM)、ACアダプタ、B-CASカード、無線リモコン、乾電池(単三アルカリ:6本 キーボード・マウス・リモコン用)

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※ 1: 日本語版です。添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用になれます。別売のOSをインストールおよびご利用になることはできません。
※ 2: ネットワークでドメインに参加する機能はありません。
※ 3: DMIはDirect Media Interfaceの略です。
※ 4: 増設メモリは、PC-AC-ME048C(4GB、PC3-8500)、PC-AC-ME050C(2GB、PC3-8500)を推奨します。
※ 5: 他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※ 6: グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。
※ 7: 実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。
※ 8: メインメモリの一部をグラフィックスメモリとして使用します。
※ 9: 最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(4GB)を2枚実装する必要があります。
※ 10: 2つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。
※ 11: ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。
※ 12: 最高解像度以外の解像度ではアスペクト比(画面縦横比)を保つために画面の左右または上下左右が黒表示となる場合があります。擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。
※ 13: パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。
※ 14: 1GBを10億バイト、1TBを1兆バイトで計算した場合の数値です。
※ 15: ブルーレイディスクの再生はソフトウェアを用いているため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU負荷などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり映像がコマ落ちする場合があります。
※ 16: MaxxAudio®は内蔵スピーカ専用の機能です。ヘッドフォン/オーディオ出力端子、USBオーディオなどを使用した外部機器では動作しません。
※ 17: 量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
※ 18: IEEE802.11nはWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)対応、IEEE802.11b/gはWEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)対応です。
※ 19: 理論上の最大通信速度は送受信ともに300Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。接続先の11nワイヤレスLAN機器の仕様により、接続時の速度が異なります。
※ 20: IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※ 21: 出荷時の解像度/色数以外ではTV機能を利用できません。
※ 22: BS・110度CSデジタル放送用のアンテナへの電源供給機能がありません。別途、電源供給器が必要になる場合があります。詳細は、ホームページ(http://121ware.com/catalog/dtv/)で、事前にご確認ください。
※ 23: 金属製の机の上などで使用した場合に、動作に影響することがあります。木製の机などの上でのご利用をおすすめします。
※ 24: キーボードの電池寿命は、アルカリ電池で連続使用した場合、最大約1000時間です(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※ 25: 使用可能な距離は約3mです(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※ 26: マウスの電池寿命は、アルカリ電池で連続使用した場合、最大約150時間です(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※ 27: 使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できないことがあります。
※ 28: パソコン本体を電源に接続している場合のみ使えます。
※ 29: 動作確認済み機器に関しましてはホームページ(http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html)をご覧ください。パワーオフUSB充電機能は、ご購入時の状態ではオフに設定されています。使用する場合は、「パワーオフUSB充電の設定」でオンにしてください。
※ 30: パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 31: 各々同時に使用することはできません。「マルチメディアカード(MMC)」はご利用できません。すべてのメモリーカード、メモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。
※ 32: 「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」は、著作権保護機能(CPRM)に対応しています。「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。
※ 33: 「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」の高速転送規格「UHS-I」には対応しておりません。
「SDXCメモリーカード」の動作確認済み機器に関しましてはホームページ(http://121ware.com/catalog/taioukiki/)をご覧ください。
※ 34: 「メモリースティック デュオ」をご使用の場合には、「メモリースティック デュオ」アダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)をご使用の場合には、「メモリースティック マイクロ」(M2)スタンダードサイズアダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)→「メモリースティック マイクロ」(M2)デュオサイズアダプター→「メモリースティック デュオ」アダプターの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック マイクロ」(M2)の取扱説明書をご覧ください。本機は4ビットパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメモリーカードによっては読出し/書込みにかかる時間は異なります。「メモリースティック PRO-HG デュオ」の8ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。著作権保護機能(マジックゲート)には対応しておりません。
※ 35: 乾電池の質量は含まれておりません。
※ 36: 本製品はマニュアルを添付しております。

BD/DVD/CDドライブ仕様一覧

	ドライブ※1	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)
読出し	CD-ROM※2	最大24倍速
	CD-R	最大24倍速
	CD-RW	最大24倍速
	DVD-ROM	最大8倍速
	DVD-R	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW	最大8倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速
	DVD-R (2層)※5	最大6倍速
	DVD+R (2層)	最大6倍速
	BD-ROM	最大6倍速
	BD-R (1層)※10	最大6倍速
	BD-R (2層)※10	最大4倍速
	BD-RE (1層)	最大4倍速
	BD-RE (2層)	最大4倍速
書込み/書換え	CD-R	最大24倍速
	CD-RW※3	最大10倍速
	DVD-R※4	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW※7	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速※9
	DVD-R (2層)※6	最大4倍速
	DVD+R (2層)	最大4倍速
	BD-R (1層)※10	最大6倍速
	BD-R (2層)※10	最大4倍速
	BD-RE (1層)※11	最大2倍速
	BD-RE (2層)※11	最大2倍速

※　1：使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。
※　2：Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※　3：Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※　4：DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※　5：追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※　6：DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※　7：DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※　8：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。
※　9：DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。
※ 10：BD-R Ver.1.1/1.2/1.3(LTH Type含む)に準拠したディスクに対応しています。
※ 11：BD-RE Ver.2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。カートリッジタイプのブルーレイディスクには対応しておりません。

TV機能仕様一覧

■TV仕様［受信機能］

チューナー		［地上デジタル／ BS・110度CSデジタル］チューナー
	チューナー数	1個
対応する放送の種類		地上デジタル放送※1、BSデジタル放送※2、110度CSデジタル放送※2
CATVパススルー対応		対応帯域：全帯域（VHF・MID・SHB・UHF）
字幕放送		対応
データ放送		対応
双方向サービス※3		対応
EPG（電子番組表）		対応

■TV仕様［ハードディスクへの録画時間］

録画モード		ビットレート※11	1時間あたりの録画に必要なハードディスク容量※4※5	字幕表示対応	外付けUSBハードディスク※9 録画時間（想定録画容量※10）（めやす）		
					約1.5TB※8	約1TB※8	約500GB※8
ダイレクト※6	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ放送	約24Mbps	約10.1GB	○	約130時間	約90時間	約40時間
	BS・110度CSデジタル標準テレビ放送	約11Mbps	約4.7GB	○	約300時間	約200時間	約100時間
	地上デジタルハイビジョンテレビ放送	約17Mbps	約7.2GB	○	約190時間	約130時間	約60時間
	地上デジタル標準テレビ放送	約8Mbps	約3.4GB	○	約410時間	約270時間	約130時間
ファイン※6		約8Mbps	約3.4GB	○	約410時間	約270時間	約130時間
ファインロング※6		約4Mbps	約1.7GB	○	約830時間	約550時間	約270時間
ロング※7		約2Mbps	約900MB	○	約1660時間	約1110時間	約550時間

■TV仕様［メディアへの保存時間］

メディア	保存形式			字幕表示対応	保存時間（めやす）
BD-R（1層／ 2層） BD-RE（1層／ 2層） ※12	BD-AV形式	ダイレクト※6	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ放送	○	約2時間10分／約4時間20分
			BS・110度CSデジタル標準テレビ放送	○	約4時間40分／約9時間30分
			地上デジタルハイビジョンテレビ放送	○	約3時間／約6時間
			地上デジタル標準テレビ放送	○	約6時間30分／約13時間
		ファイン※6		○	約6時間30分／約13時間
		ファインロング※6		○	約13時間／約27時間
		ロング※7		○	約27時間／約55時間
		1ディスクダビング※15		○	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※16
DVD-R（1層／ 2層） ※13	AVCREC形式	ファイン※6		○	約1時間10分／約2時間10分
		ファインロング※6		○	約2時間30分／約4時間40分
		ロング※7		○	約5時間／約9時間30分
		1ディスクダビング※15		○	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※16
	DVD-VR形式 ※7※14	高画質		×	約1時間20分／約2時間20分
		標準画質		×	約2時間30分／約4時間40分
		長時間		×	約5時間／約9時間
		1ディスクダビング		×	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※16
DVD-RAM（片面4.7GB） ※8※13	AVCREC形式	ファイン※6		○	約1時間10分
		ファインロング※6		○	約2時間30分
		ロング※7		○	約5時間
		1ディスクダビング※15		○	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※16
	DVD-VR形式 ※7※14	高画質		×	約1時間10分
		標準画質		×	約2時間20分
		長時間		×	約5時間
		1ディスクダビング		×	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※16

■TV仕様[外でもVIDEO]

画質(解像度)	ビットレート ※11	字幕表示対応	保存時間(めやす)			
			SDメモリーカード※5※17			
			16GB	8GB	4GB	2GB
SD画質(640×360)	約1.1Mbps	×	約30時間	約15時間	約7時間	約3時間
ワンセグ画質(320×180)	約600Kbps	×	約57時間	約28時間	約14時間	約7時間

放送中の番組を視聴しているとき、および、ダイレクトモードでハードディスクに録画した番組を再生しているとき以外は、データ放送を利用することはできません。録画(保存)時間は目安であり、録画(保存)する先(ハードディスク、BD/DVDメディア、SDメモリーカード)の空き容量や、録画(保存)する番組によって変動します。SmartVisionの場合、5.1chサラウンド放送の音声は、ステレオ2chに変換して出力しています。

※　1：ケーブルテレビ会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーション方式など)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
※　2：ケーブルテレビ会社経由でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかどうかは、ケーブルテレビ会社により異なります。ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
※　3：双方向サービスは、LAN回線を使用して利用できます。尚、本機はモデム機能を搭載していないため、電話回線を使用しての利用はできません。
※　4：録画するTV番組により必要なハードディスク容量は変動します。
※　5：容量は、1MB＝1024^2バイト、1GB＝1024^3バイト換算値です。
※　6：放送された解像度のままで録画します。
※　7：解像度は、720×480となります。
※　8：1GBを10億(1000^3)バイト、1TBを1兆(1000^4)バイトで計算した場合の数値です。
※　9：動作確認済み機器に関しましては、ホームページ (http://121ware.com/catalog/hddlist/) をご覧ください。
※ 10：録画に使用可能な空き容量の想定値です。
※ 11：録画する番組により、ビットレートはこの値を基準にして上下に変動します。
※ 12：BD-RE Ver.1.0規格のディスク(カートリッジ付きディスク)の使用はできません。次世代著作権保護技術AACSに対応しています。
※ 13：CPRM方式に対応していないDVD-R/DVD-RAMにはコピーまたはムーブできません。
※ 14：DVD-VR形式で保存する場合には、ダイレクト／ファイン／ファインロング／ロングを、高画質／標準画質／長時間に変換します。
※ 15：解像度を720×480に変換して書き込まれる場合があります。
※ 16：メディアの空き容量にあわせて、ビットレートや解像度を変換して保存します。ただし、メディアへ保存する合計時間が長すぎる場合は、保存できない場合があります。
※ 17：サポートするSDメモリーカードは、microSDカード、microSDHCカード、SDXCメモリーカードになります。動作確認済機器に関しましては、ホームページ (http://121ware.com/catalog/sotodemo/) をご覧ください。パソコン本体では再生できません。SDメモリーカードに表示されている容量の約90%を録画番組の保存に利用可能として保存時間を算出しており、実際の保存時間とは異なる場合があります。長時間番組は、SD画質では約3時間30分ごと、ワンセグ画質では約6時間30分ごとを目安に複数の番組データに分割してSDメモリーカードに転送します。

LAN仕様一覧

項　目	規　格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1000Mbps 100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約200m/ステーション間 100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※リピータの台数など、条件によって異なります。

ワイヤレスLAN仕様一覧

●IEEE802.11b/g

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b、ARIB STD-T66※3
通信モード	IEEE802.11gモード：54/48/36/24/18/12/9/6（Mbpsモード）※1 IEEE802.11bモード：11/5.5/2/1（Mbpsモード）※1
伝送方式	OFDM方式（54/48/36/24/18/12/9/6Mbpsモード時） DS-SS方式（11/5.5/2/1Mbpsモード時）
無線チャンネル	1 ～ 13ch（アクティブスキャン）
周波数帯域	2.4GHz帯域　（2.4 ～ 2.4835GHz）
セキュリティ	WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES） WEP（鍵長64bit/128bit※2）

※１：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※２：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

※３：ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）の規定内容は、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク（有線・無線）」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。

●IEEE802.11n

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11n、ARIB STD-T66 ※2
通信モード	20MHz時：130/117/104/78/52/39/26/13(Mbpsモード) 20MHz、Short GI有効時：144.444(Mbpsモード) 40MHz時：270/243/216/162/108/81/54/27(Mbpsモード) 40MHz、Short GI有効時：300(Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式、MIMO方式
無線チャンネル	1 ～ 13ch(アクティブスキャン)
周波数帯域	2.4GHz帯域(2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)

※１： 各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※２： ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線）」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。

リモコン仕様一覧

外形寸法	リモコン※1	50(W)×258(D)×27.5(H)mm
質量	リモコン	約140g(電池含まず)
電池		単3形乾電池2本

※1：使用可能な距離は約3mです(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。

2.4DS1/XX4　Wireless Input system

VALUESTAR

本製品を
お買い求めのお客様へ

初版　2010年9月
NEC
853-811064-058-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032　東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎ウエストタワー）

このマニュアルは再生紙を使用しています。